

#### 本製品の省エネ制御機能について

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に機器を使用してから一定時間経過すると、自動的に消 費電力を低減する「低電力モード」に移行し、さらに設定時間以上機器を使用しないと、自動的に電源オフに なる「オフモード」に移行する省エネ制御機能を備えています。また複写機にプリンタおよびファクス機能が ある場合は、最後に機器を使用してから一定時間経過すると、プリンタおよびファクスが待機状態のまま自動 的に消費電力を低減する「低電力モード」に移行し、さらに設定時間以上機器を使用しないと、プリンタおよ びファクスが待機状態のまま自動的に消費電力を最小にする「スリープモード」に移行する省エネ制御機能を 備えています。

#### 「低電力モード」

最後にご使用になってから 30 分を経過しますと、自動的に「低電力モード」に移行します。なお「低電力 モード」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは、6-12 ページの節電機能をご覧ください。

#### 「オフモード」

最後にご使用になってから90分を経過しますと、自動的に「オフモード」に移行します。なお「オフモード」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは、6-12ページのオートシャットオフ機能をご覧ください。

#### 「スリープモード」(複写機にプリンタ機能がある場合)

最後にご使用になってから90分を経過しますと、自動的に「スリープモード」に移行します。なお「スリー プモード」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは、6-12ページのオートシャットオフ機能をご覧くだ さい。

#### 再生紙

本製品は、環境に与える負荷の少ない再生紙を使用することができます。推奨紙などは、販売担当者または サービス担当者にご相談ください。

#### 国際エネルギースター (ENERGY STAR®) プログラム



弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの 対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

この使用説明書では、オプション品について、簡略化した名称を使って説明を行っています。 オプション品の正式な商品名は以下のとおりです。

商品名	使用説明書記載の名称
原稿トレイ AT1	原稿トレイ
Scanner / Plotter System (D)	プリンタ/スキャナ コントローラ
キーカードMK-1	キーカード
キーカウンタ	キーカウンタ
キャリアシート	キャリアシート
RU-4	ロールユニット
PF-900	カセット

## 

この使用説明書は、複写機を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法・日常の手入れおよび簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。 ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。また、お読みになった後は、所定の保管場

所に保管してください。

この使用説明書及び本製品への表示では、本製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々 への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その 表示と意味は次のようになっています。



**危険**:この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を 負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



嘗告:この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を 負う可能性が想定される内容を示しています。

注意:この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が 想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 絵表示

△記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるもの です。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

「感電注意」、 「注意一般」、 「高温注意」

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な 禁止内容が描かれています。



分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に 具体的な指示内容が描かれています。

「強制一般」、

「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使 用説明書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手 してください。(有償)

〈お願い〉

使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますので御了承ください。

目	次
1章	重要です!始めにお読みください 1-1
1.	注意ラベルについて 1-1
2.	▲ 機械を設置する時のご注意 1-2
3.Z	🛿 取り扱い上のご注意 1-3
4. =	ピー禁止事項 1-4

2 章	各部の名称		2. 基
			3. ⊐
(1)	機械本体		(1
(2)	操作パネル	2-4	(2
(3)	メッセージ表示	2-6	(2
			(.)

3	章	ご使用前の準備	3-1
	1.原	稿について	3-1
	(1	)原稿の種類	3-1
	(2	)原稿反転ガイドのセット	3-2
	(3	)原稿ホルダーのセット	3-2
	(4	)原稿のセットのしかた	3-2
	(5	) キャリアシート ( オプション ) の	
		使用方法	3-3
	(6	)原稿トレイ(オプション)の使用方法…	3-4
	2.用	紙について	3-5
	(1	) 用紙の種類	3-5
	(2	) ロール紙のセット方法	3-6
	(3	)保温ヒーターについて	3-7
	(4	)カセット(オプション)への用紙の	
		セット方法	3-8
	(5	)コピー受け補助板の使い方	3-8

1-1	4 章 基本的なコピー4-	1
1-1	1. コピーをとる前に 4-	- 1
1-2	(1)初期状態について4-	- 1
1-3	(2)節電表示が点灯している場合	- 1
1-4	(3)キーカウンタ(オプション)を使用	
	しているとき4-	- 1
	(4)キーカード(オプション)を使用	
	しているとき4-	- 1
2-1	2. 基本的なコピーのしかた	-2
0.4	3. コピーモードについて	-4
2-1	(1)自動用紙選択モード4-	-4
2-4	(2)自動倍率選択モード	-4
2-6	(3)手動モード 4-	-4
	4. 用紙種類の選択 4-	-5
	5. ロール紙カット長さの選択 4-	-6
	(1)シンクロカット4-	-6
.3-1	(2)定寸カット 4-	-6
3-1	(3)テンキー入力4-	•7
3-1	6.手差しコピー4-	8
3-2	7. コピーの中止	-9

5章 機能的なコピー	<sup>.</sup> 5-1
5章 機能的なコピー	<sup>.</sup> 5-1

1. 縮小 / 拡大モード	5-1
(1)固定变倍	5-1
(2)ユーザー設定変倍	5-2
(3)独立変倍	5-3
(4)ズーム変倍	5-4
2. 編集機能	5-5
(1)画像移動	5-5
(2)余白	5-7
先端余白	5-7
後端余白	5-7
全面出力	5-7
(3)枠消し	5-9
(4)鏡像	5-10
(5)画像回転	5-10
3. ソート / グループコピー	5-11
(1)ソートコピー	5-11
(2)グループコピー	5-12

6	章便	利な機能	6-	1
	1.調整機	能	6-	1
	(1)作	頁き補正	6-	1
	(2)	<del>6</del> 倍度微調整	6-	2
	(3)ភី	官着温度微調整	6-	3
	2.再コヒ		6-	4
	(1)≢	<b>∮コピーのしかた</b>	6-	4
	(2)	ノート / グループ後の再コピー	6-	4
	(3) 🗉	画像データの消去	6-	5
	3. サンフ	パルコピー	6-	6
	機能	サンプル	6-	6
	濃度	サンプル	6-	6
	4.ジョフ	「予約機能	6-	7
	(1)3	ジョブの予約	6-	7
	(2)3	ジョブ予約の削除	6-	8
	5. プロク	「ラム機能	6-	9
	(1);	プログラムの登録	6-	9
	(2)	プログラムを使ったコピー	. 6-1	0
	6.割り込	⊾みコピー	. 6-1	1
	7.オート	- クリア機能	. 6-1	2
	8. 節電機	卷能	. 6-1	2
	9.オート	・シャットオフ機能	. 6-1	2

7	章	管理と設定	7-1
	1.初	期設定一覧	7-1
	(1	) マシン設定	7-1
	(2	? ) コピー設定	7-4
	2.初	期設定の設定方法	7-8
	(1	) ユーザーの設定方法	7-8
	(2	? ) 管理者の設定方法	7-9
	(3	3 ) 各項目の設定	7-10

### 

8章	こんなときには		I
1.⊐∣	ピー中の表示についる	<b>5</b>	1
2. ト <del>.</del>	トー補給のしかた		3
3. ト <del>.</del>	トー回収タンクの交換	ぬのしかた 8-5	5
4. メ <sup>-</sup>	Eリーオーバーフロ-	-時の処置 8-6	3
5.サ-	- ビスコールが表示さ	されたら 8-8	3
6.紙詞	まりが発生したとき	٤-9	9
(1	)紙詰まりの位置表	示	9
(2	) 処理上の注意事項		9
(3	) 処理のしかた		9
7. ト <del>:</del>	ラブルが発生したとき	<u>ع</u> 8-1	4

9	章 保守・運用のために	9-1
	1. 機械の清掃のしかた	9-1
	2. 消耗品	9-2
	3. 製品の保守サービスについて	9-3
	4. 保守サービス契約書について	9-3
	5. 補修用性能部品について	9-3
	6. 廃棄について	9-3
	7. 仕様	9-4

- コピー機能
- 1 <自動用紙選択モード>(P4-2参照) 機械が自動的に用紙を選択します。



< 独立変倍モード > (P5-3 参照) 縦、横別々に変倍コピーできます。



- 3 <ソートコピー>(P5-11参照) 複数の原稿を1部ごとに仕分けてコピーできます。
- 2 多彩な変倍モード <自動倍率選択モード>(P4-4 参照) 選択した用紙にあわせて自動的に拡大 / 縮小コピーします。



<ズーム変倍>(P5-4 参照) 1% または 0.1% きざみで拡大 / 縮小コピーできます。



<固定変倍>(P5-1 参照) 標準で登録されているコピー倍率で拡大/縮小コピーでき ます。



4 <グループコピー>(P5-12参照) 複数の原稿から原稿ごとに複数枚コピーできます。



5 < 画像移動設定 > (P5-5 参照) 上下左右に画像を移動することができます。



6 <余白設定>(P5-7参照) コピーの先端や後端に余白をつくることができます。反対 に余白をカットすることもできます。



- 7 <枠消し設定>(P5-9 参照) 画像の回りをきれいに消去できます。
- 8 <鏡像設定>(P5-10参照) 画像を左右反転させてコピーできます。



9 <画像回転>(P5-10参照) 画像を90°回転させてコピーできます。



- 10 <サンプルコピー >(P6-6 参照)
  - サンプルコピーでコピーの仕上がりを確認することができます。



- 11 < 再コピー機能 > (P6-4 参照) コピーが終わったあとに、再度出力できます。
- **12** <ジョブ予約機能 > (P6-7 参照) コピー待ちの間に次のコピーを予約できます。
- **13** < プログラム機能 > (P6-9 参照) よく使う設定を登録できます。



設定 / 調整機能

- 14 <定着温度調整 > (P7-2 参照) 用紙の種類や、機械の設置環境に応じて定着温度が設定 できます。
- **15** <定着温度微調整 > (P6-3 参照) 一時的に定着温度が微調整できます。
- **16** <等倍度調整 > (P7-2 参照) 用紙の種類や、機械の設置環境に応じて等倍度が設定で きます。
- **17** <等倍度微調整>(P6-2 参照) 一時的に等倍度が微調整できます。
- **18** < 傾き補正 > (P6-1 参照) 左1.5°~右1.5°の間で傾きを補正することができます。



オプション

19 < ロールユニット > (P3-6 参照) 給紙段を 1 段分増設することができます。



**20** < 原稿トレイ > (P3-4 参照) 機械後部から排出される原稿を収納します。



**21** < カセット > (P3-8 参照) A4、A3 サイズのカット紙をセットできます。



22 <キーカウンタ>(P4-1 参照) 使用枚数をカウントすることができます。



23 <キーカード>(P4-1 参照) カードにより最大1000部門まで、部門ごとの使用枚数 を管理できます。



24 <キャリアシート>(P3-3 参照) 原稿読み込み時に、原稿を保護します。



- **25** <増設メモリ> DIMM(128 MB、256 MB、512 MB)を2スロッ トまで増設できます。
- 26 <プリンタ/スキャナコントローラ> 本機をプリンターまたはスキャナーとしてお使いいただく ことができます。

1章 重要です!はじめにお読みください

## 1. <u> 注意ラベルについて</u>

本製品には、下記に示す位置に安全に関する注意ラベルを貼っています。紙詰まり処置時に火傷や感電などの事故のないようご注 意ください。



### 

設置環境について



場所に置かないでください。火災の原因となること があります。 本製品の冷却効果を保つため、機械の周辺は下記の

スペースを確保してください。特に左右、後方には 通気口があり、壁などに近づけないでください。充 分なスペースがないと冷却されず、発熱や性能不良 の原因となります。.....



本製品を設置したら 4 個のアジャスターで止めてく ださい。動いたり、倒れたりしてけがの原因となる ことがあります。.....

#### その他の注意事項

本製品は設置する場所によっては外気条件が加わっ て、性能が維持できなくなる場合がありますので、 常温常湿の室内(室温20、湿度65%RHが適 当)に設置し、下記のような場所は避けてください。 ・窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所

- ・振動の多い場所
- ・急激に温度や湿度が変化する場所
- ・冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- ・通気性、換気性の悪い場所

本製品を設置後移動する際に、キャスタにより傷付 きやすい床の場合、床材を傷付ける恐れがあります。 複写機の使用中はオゾンが発生しますが、その量は 人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気 の悪い部屋で長時間使用する場合や大量にコピーを とる場合には、臭気が気になることもあります。快 適な作業環境を保つためには部屋の換気をすること をお勧めいたします。 設置電源・アースについて

▲ 警告

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでくだ さい。またタコ足配線をしないでください。火災、 感電のおそれがあります。.....

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災、感電の原因となります。.....



必ずアース線をアース対象物に接続してください。 アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、 感電のおそれがあります。なお、アース接続ができ ない場合は、弊社製品取り扱い店等にご相談ください。

#### その他の注意事項

電源プラグは製品の近くの容易に接続できるコンセントにつないでください。





本製品に使っている包装用のビニールを子供に触れ させないでください。ビニールが鼻や口に吸着する と、窒息するおそれがあります。.....







機械の取り扱いについて



本製品の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入っ た容器または金属物を置かないでください。こぼれ たり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあり ます。.....



本製品のカバーは外さないでください。内部には電 圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり しないでください。また重いものをのせたり、引っ ぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいた め、火災、感電のおそれがあります。	
火災、感電のおそれがあります。	
万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭い がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感 電のおそれがあります。すぐにメインスイッチを切 り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて ください。そして弊社製品取り扱い店等にご連絡く ださい。	
万一、異物(金属片、水、液体)が本製品の内部に 入った場合は、まず本体のメインスイッチを切り、 電源プラグをコンセントから抜いて弊社製品取り扱 い店等にご連絡ください。そのまま使用すると火災、 感電のおそれがあります。	
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。	Ñ
内部の点検・修理は弊社製品取り扱い店等に依頼し てください。	Ì

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コー ドを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、 火災、感電の原因となることがあります。(必ず電源 プラグを持ってコンセントから抜いてください)..... 本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコン セントから抜いて行ってください。電源コードが傷 つき、火災、感電の原因となることがあります。…… 夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、 メインスイッチを切ってください。また連休等で長 期間、本製品を使用にならないときは、安全のため 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。... 本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラ グをコンセントから抜いてください。...... 本製品を移動させる場合は、レベルボルトを解除す ることを確認してください。.....



本製品内部の清掃については弊社製品取り扱い店等 にご相談ください。本製品の内部にほこりがたまっ たまま長い間掃除をしないと火災や故障の原因とな ることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の 前に行うと、より効果的です。なお、内部清掃費用 については弊社製品取り扱い店等にご相談ください。....

#### その他の注意事項

本製品の上には重いものをのせたり、衝撃を与えた りしないでください。

- コピー中には次のことをしないでください。
- ・カバーを開ける。
- ・メインスイッチを切る。
- ・電源コードを抜く。

本製品を移動させる場合は、弊社製品取り扱い店等 へご連絡ください。

コネクタ、プリント基板等の電気部品に触らないで ください。静電気により破損する可能性があります。 この使用説明書に記載されていないことは行わない でください。

#### 消耗品の取り扱いについて



トナーボトルおよびトナー回収タンクは、火中に投 じないでください。火花が飛び散り、やけどの原因 となることがあります。…… トナーボトルおよびトナー回収タンクは、子供の手 に触れる事のない様に保管してください。…… トナーボトルおよびトナー回収タンクより、トナー が漏れた場合には、トナーを吸い込んだり、口に入 れたり、眼、皮膚に触れない様にしてください。……

- ・トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気の場所に 移動し、多量の水でよくうがいをしてください。 咳などの症状が出るようであれば医師の診察を受 けてください。
- ・トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、 コップ1、2杯の水を飲んで胃を薄め、必要に応 じて医師の診断を受けてください。
- ・眼に入った場合は、直ちに流水で良く洗い、刺激 が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- ・皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水で良く洗い 流してください。

トナーボトルおよびトナー回収タンクは、無理に開けたり、壊したりしないでください。.....

### 4. コピー禁止事項

複写機を使って何をコピーしてもよいとは限りません。特に法律により、そのコピーを所有するだけでも罰せられる ことがありますので、次の点に充分ご注意ください。

#### 1.法律で禁止されているものには

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債
 証券は、コピーすることを禁止されています。
 例えば、見本の印が押してあっても、コピーすることはできません。
 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピーも禁止されています。
 政府の模造許可を取らない限り、未使用郵便切手、官
 製はがきの類は、コピーすることを禁止されています。
 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証紙類のコピーもできません。

#### (関係法律)

通貨及ビ証券模造取締法 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽 造変造及ビ模造ニ関スル法律 郵便切手類模造等取締法 印紙等模造取締法 紙幣類似証券取締法



その他の注意事項

使用後、不要となりましたトナーボトルおよびト ナー回収タンクは、お買い上げの販売店もしくは弊 社のサービス担当者にご返却ください。回収された トナーボトルおよびトナー回収タンクは、再利用も しくは再資源化のために再利用されるか、法律に従 い廃棄処理されます。

消耗品は冷暗所に保管ください。

本製品を長時間使わない場合は、用紙をカセットま たはデッキから取り出し、もとの包装紙に戻して密 封してください。

#### 2.注意を要するものには

民間発行の有価証券(株券、手形、小切手など)定期 券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低 必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって、注 意を呼びかけられています。 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証 許可証、身分証明証や通行券、食券などの切符類も勝手 にコピーしないほうがよいと考えられます。

#### 3. 著作権にもご注意を

著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地 図、図面、映画及び写真などの著作物は、個人的にまた は、家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用す るためにコピーする以外は、禁じられています。



2章 各部の名称



- (1)機械本体
- ①原稿ガイド
- ② 原稿押さえ
- ③ 原稿先端カバー 原稿を正確にセットするときに開いてください。
- ④ 原稿反転ガイド
- ⑤ 操作パネル
- ⑥ 排出カバー
   紙詰まりが発生したときに開けてください。
- ⑦ 排出解除レバー
   紙詰まりが発生したときに操作してください。
- ⑧本体解除レバー 紙詰まりが発生したときに操作してください。
- ⑨ 原稿テーブル
- 10原稿ホルダー
- 長いロール原稿をセットできます。
- ⑪ 手差しテーブル

- 12 手差しガイド
- 13 前カバー
  - ロール紙をセットするときや、紙詰まりが発生したときなど に開いてください。
- ⑭ コピー受け
  - コピーされた用紙がここに収納されます。
- 15 コピー受け補助板
- コピーする用紙サイズに合わせてセットしてください。
- 16 メインスイッチ
- ① トータルカウンタ
  - 用紙の出力長さを表します。
- 18 キーカウンタ挿入口
  - キーカウンタ (オプション)を取り付けているときここに キーカウンタをセットします。





19 右カバー

- トナー回収タンクを交換するときに開けてください。
- トナー補給口
- トナーを補給するときに開けてください。
- 21 トナー補給口つまみ
- トナー補給口を開けるときに回してください。
- 22 コンタクトガラス (ここで原稿を読み取ります)
- 23 ロールユニット(オプション装着時、給紙段1)
- 29 ロールユニット(給紙段2)
- 25 ロールユニット(給紙段3)
- 26 使用説明書ポケット
- 使用説明書はここに入れて保管してください。
- ② トナー回収タンク
- 28 搬送ノブ
  - 紙詰まりが発生したときに操作してください。
- 29 保温ヒータースイッチ 上からそれぞれ給紙段1、2、3用のスイッチです。
- ③ 保温ヒーター元スイッチ
   このスイッチをOFFにすると前カバー内側の保温ヒータース
   イッチがONであっても保温ヒーターの電源は切れます。
- フランジ
   ロール紙の両側にセットしてください。
- ③2 解除レバー
- 33 フランジ受け



(2)操作パネル



- 自動用紙/倍率キー (自動用紙選択モードまたは自動倍率選択モードに切り替え) るときに押してください。P4-4参照) 2 100% = -(コピー倍率を100%でコピーしたいときに押してください。) ③ 縮小 / 拡大キー (コピー倍率を変更するときに押してください。P5-1参照) ④ メッセージ表示 (コピーの状態や、紙詰まりなどのエラーを表示します。 注意:5 以下の低温環境で使用する場合、表示部の液晶が見づ らくなることがあります。 その場合は、初期設定の「液晶コントラスト」で明るさを調整 (22) 節電キー(表示) してください。P7-1 参照) ⑤ 原稿指定キー (標準原稿、文字 / 線画、写真の3種類から原稿の種類を選択 23 スタートキー してください。原稿に合わせて適切な画像処理を行います。 P4-2参照) 24 リセットキー ⑥ 自動濃度キー(表示) (自動でコピー濃度を設定するときに押してください。P4-3 参照) ⑦ 用紙種選択キー (普通紙、第2原図、フィルム、カスタムの4種類からコピー する用紙の種類を選択できます。P4-2、4-5参照) (8) 給紙段選択キー (給紙段1(オプションロールユニットまたはオプションカ セット装着時) 給紙段2、給紙段3、手差しより給紙段を P4-3 参照) 選択できます。P4-2参照) 27 コピー濃度表示 ⑨ カット選択キー (シンクロカット、定寸カット、テンキー入力(任意寸法入力) の3種類からロール紙のカット寸法を選択できます。P4-2、 28 コピー濃度調整キー 4-6 参照) 初期設定キー さい。P4-3 参照) (初期設定やプログラム登録をするときや言語を変更すると 29 スキャン表示 きに押してください。) 編集機能キー (画像移動、余白、枠消し、鏡像、画像回転の編集機能を使 用するときに押してください。P5-5参照) 調整機能キー (傾き補正、等倍度微調整、定着温度微調整を行うときに押 してください。P6-1 参照) (13) プログラム呼出しキー (登録したプログラムを呼び出すときに押してください。 ③ テンキー P6-10参照) (14) <► (カーソル)キー ③2 用紙カットキー (各種設定モードの選択時に使用します。また、コピー倍率 の変更にも使用します。) 15 OK +-(各種設定モードの決定時に使用します。) 10 メモリー表示 (画像メモリーの使用状態を表します。
  - 点灯時:メモリー内に画像あり 消灯時:メモリー内に画像なし
  - 点滅時:画像読み込み中) ① 再コピーキー(表示)
  - (再コピーを行うときに押してください。P6-4 参照)

- (18) ジョブ予約キー(表示) (ジョブ予約機能を使用するときに押してください。P6-7参照) 19 ソート / グループキー(表示) (ソートコピーまたはグループコピーを行うときに押してく ださい。ソート表示が点灯します。P5-11、5-12参照)
- 2 割り込みキー(表示) (割り込みコピーを行うときに押してください。割り込み表 示が点灯します。P6-11参照)
- 21 サンプルコピーキー(表示) (サンプルコピーを行うときに押してください。サンプル表 示が点灯します。P6-6参照)
- (本機を節電状態にしたり、節電状態から復帰させるときに 押してください。節電表示が点灯します。P4-1参照)
- (読み込みや出力を開始するときに使用します。)
- (設定されている機能を解除します。また、画像メモリー内 の画像データを消去します。)
- 25 ストップ / クリアキー (コピー枚数などを取り消すときや、コピーを途中で中止す るときに押してください。)
- ② うすい濃度 / こい濃度表示
  - (手動濃度モードの状況を表示します。 うすい濃度表示が点灯:標準うすいモード こい濃度表示が点灯:標準こいモード
- (手動濃度モード時のコピー濃度を点灯表示します。 左側に 移動させるとうすく、右側に移動させるとこくなります。)

# (手動濃度モードでコピー濃度を調整するときに押してくだ

- (原稿の読み込み状態を表します。
  - 点灯時:原稿読み込み可能
  - 消灯時:原稿読み込み不可
- 点滅時:原稿読み込み中)

30 コピー / プリンタ / スキャナキー(表示) (オプションのプリンタ/スキャナコントローラを設置して いるとき、プリンタモード、スキャナモードに切り替えると きに押してください。表示が点灯します。)

(コピー枚数や数値を入力するときに押してください。)

(新しいロール紙をセットしたときに押してください。また、 コピー出力中のロール紙を強制カットし、コピーを中止する ときにも押してください。P4-2、4-6参照)

(33) 緊急原稿ストップキー (原稿搬送を即時停止させるときに押してください。P4-9 参照)

#### 2章 各部の名称

オートロールチェンジ機能

同じサイズの用紙をセットしていれば、用紙切れになったと き、自動的に給紙段を切り替えてコピーを継続します。 オプションのロールユニットを設置したときでも標準のロール ユニットと同様にオートロールチェンジ機能が働きます。 初期設定の「④オートロールチェンジ」でこの機能をON /OFFできます。(P7-3参照)

オートクリア機能

コピー終了後、1分間を経過すると機械は自動的に初期状態になります。 初期設定の「⑦ オートクリア」でこの機能をON/OFFで きます。(P7-2 参照) 初期設定の「⑨ タイマー設定」でこの機能が働くまでの時 間を設定できます。(P7-2 参照)

(3) メッセージ表示



- ① 本機の状態やコピーの状態を表示します。
- ② コピーモードを表示します。
- " 自動用紙 ": 自動用紙選択モード
- " 自動倍率 ": 自動倍率選択モード
- ③ 原稿の種類を表示します。
- " 標準原稿 "、" 文字 / 線画 "、" 写真 "
- ④コピー倍率を表示します。
- ⑤ コピー枚数を表示します。
- ⑥用紙の種類を表示します。
- " 普通紙 "、" 第 2 原図 "、" フィルム "、" カスタム " ⑦ 給紙段と用紙のサイズを表示します。
- ⑧ 画像移動設定
  ⑨ 余白設定
  ⑩ 枠消し設定
  ⑪ 鏡像設定
  ⑫ 画像回転設定
  ⑬ 傾き補正
  ⑭ 等倍度微調整
  ⑮ 定着温度微調整

現在設定されているコピー機能や調整機能

3章 ご使用の準備

### 1.原稿について

#### (1)原稿の種類

本機で使用できる原稿は以下のような制限がありますのでご注 意ください。

使用できる原稿

- ・シート原稿のみ使用できます。
- ・原稿サイズは規格紙の場合、A4好~ A0
- ·原稿の厚さは64~80g/m<sup>2</sup>
- ・原稿長さは279~6000mm
- ・原稿幅は210~920mm



210mm~920mm

補足

#### ・ソート/グループコピーで読み込みできる原稿枚数(参考値)

メモリー画像圧縮設定値	読み込み原稿枚数(A0)
高圧縮	約 8 枚
標準	約2枚

上記原稿枚数は、標準メモリ(128MB)での参考値です。 原稿の挿入条件や原稿の種類によって変わります。

・初期設定の「<sup>(1)</sup> メモリー画像圧縮」で、メモリに読み込んだ 画像データの圧縮率を変更できます。"低圧縮(高画質)"に設 定している場合は、画像メモリーの増設をおすすめします。 キャリアシート オプション

以下のような原稿はキャリアシートにはさんでご使用ください。また、その他の原稿でも特に大切な原稿や、繰り返し使用する原稿に も使用されることをお勧めします。キャリアシートの使い方は 「(5)キャリアシート(オプション)」を参照してください。(P3-3 参照)

- ・腰のない柔らかい原稿や薄手の原稿
- ・カーボン紙
- ・しわや折れがひどい原稿
- ・パンチ穴やミシン目のある原稿
- ・切り貼り原稿
- ・2 枚以上重ねた原稿



#### 補足

- ・フィルム原稿で繰り返しコピーをするときは、静電気による 汚れを防ぐため必ずキャリアシートをご使用ください。
- ・濃い鉛筆原稿などの原稿を読み込む際、原稿が汚れるおそれ があるためキャリアシートのご使用をお勧めします。

使用できない原稿

- ・「使用できる原稿」に記載されているサイズ以外の原稿
- ・ホッチキスやクリップで留めてある原稿
- ・濡れた原稿や粘着テープ
- ・のりがついた原稿
- ・部分的に厚さが異なる原稿
- ・インクや修正液などが乾いていない原稿
- ・ドラガー、ブルーレーン原稿

用紙の周囲に処理を行っている原稿は先端と後端が波うちして おり、この部分にある画像が、文字浮き、白抜けする場合があ ります。このような時は波うちの少ない方を先端にして原稿を セットしてください。



#### (2)原稿反転ガイドのセット

原稿反転ガイドは機械奥側に排出される原稿を手元に戻します。 原稿トレイ(オプション)やキャリアシート(オプション)を 使用するときおよび初期設定「原稿排出方向」で"手前に 排出"を設定している時は原稿反転ガイドを外してください。 (P7-1参照)



(3)原稿ホルダーのセット

長いロールの原稿をコピーするときは、両側の原稿ホルダーを 開いてご使用ください。



- (4) 原稿のセットのしかた
  - 1 両方の原稿ガイドを原稿テーブル上の原稿サイズ指示 に合わせてセットしてください。



#### 原稿ガイドの切り欠き↑を原稿サイズ指示に合わせる

2 原稿は下向きにセットしてください。 自動スタートまたはスタートキーを押すと原稿の読み 込みを開始します。読み込みを開始したときは手を離



してください。

#### 補足

- ・先端カールの強い原稿を使用する場合、原稿の先端が折れる 場合がありますので注意してください。
- ・コピーのスタート方法は、初期設定の「12 コピー開始方法」 によって異なります。(P7-5 参照)
- ・原稿を正確に読み込みたいときは、原稿先端カバーを開けて原 稿をセットしてください。「原稿を正確にセットするとき」

原稿がカールしているとき

原稿押さえを開き、原稿サイズ指示の位置よりも奥(奥側の ローラー位置)にセットしてください。

原稿押さえを閉めるときは両手でフックがかかるまでしっか り閉めてください。



原稿を正確にセットするとき 特に長い原稿をご使用になるときは以下の手順でセットしてく ださい。

1 両方の原稿ガイドを原稿テーブル上の原稿サイズ指示 に合わせてセットしてください。

**2** 原稿先端カバーを開いてください。



**3** 原稿を下向きにして、原稿用紙先端を先端ガイド に 確実にあててください。



補足

- ・原稿を先端ガイドに原稿先端を膨らませて当てると、斜めに 給紙される可能性がありますので注意してください。
- **4** 原稿先端カバーを閉じて下さい。スタートキーを押してコピーを開始してください。

(5)キャリアシート(オプション)の使用方法

「キャリアシート < オプション > に記載されている原稿を使っ てコピーするときには、このキャリアシートをお使いくださ い。(P3-1 参照)

1 キャリアシートの透明の方を上にして開け、原稿のおもて面が見えるようにはさんでください。原稿はキャリアシートの折り返しの部分に合わせてください。



2 原稿のおもて面を下向きにして、折り返しの側から原稿をセットしてください。



#### 重要

- ・キャリアシートをお使いの場合は、P7-1、初期設定の「原稿排出方向」を"奥に排出"に設定してください。"手前に排出"を設定すると原稿を傷める恐れがあります。
- ・等倍コピー時に、シンクロカットでコピーすると用紙がキャリアシートの大きさでカットされます。

(6)原稿トレイ(オプション)の使用方法

A1 サイズの原稿が20 枚まで収納できます。



#### 補足

キャリアシートをご使用の場合には原稿トレイを水平にしてください。

水平にした場合の収納枚数は1枚ですのでご留意ください。



### 2. 用紙について

#### (1)用紙の種類

本機で使用できる用紙は以下のような制限がありますのでご注 意ください。

使用できる用紙

- 1. 給紙段1(オプション) 2 および給紙段3
- ・ロール紙の幅:210~920mm
- ・ロール紙の外径:180mm以下
- ・ロール紙の内径:76mm(75.2~77.2mm)
- ・使用できるロール紙の種類
   普通紙(64~80g/m<sup>2</sup>)
   第2原図
   フィルム

#### 2.手差し

用紙サイズ(規格紙):A4好~A0
用紙の幅:210~920mm
用紙の長さ:297~1189mm
使用できる用紙の種類
普通紙(64~80g/m<sup>2</sup>)
第2原図
フィルム

#### 使用できない用紙

- ・「 使用できる用紙」に記載されている以外の用紙
- ・ホッチキスなどが付いている用紙
- ・しわや折れ、破れのある場合は、無くなるところまでロール 紙を引き出し、カットしてからご使用ください。



#### 用紙幅の自動検知について

セットされたロール紙が規格サイズであれば、用紙幅を自動検知します。検知される寸法は以下のとおりです。

< A 列 >
A0:841mm
A1:594mm
A2:420mm
A3:297mm
A4:210mm
< B 列 >
< B 列 > B1:728mm
< B列> B1:728mm B2:515mm
< B列> B1:728mm B2:515mm B3:364mm

### B4:257mm

### 補足

- ・手差しは自動検知されません。
- ・規格サイズ以外の用紙幅を登録することができます。初期設 定の「①用紙幅設定」を参照してください。(P7-1参照)
- ・定形サイズA列/B列の切替は初期設定の「13定形サイズ 切替」で選択してください。(P7-3参照)

用紙の保管について 機械を長時間使わない場合は、ロール紙をもとの梱包袋に入 れ、密封してください。

#### 重要

- ・第2原図について 第2原図は、環境状態に非常に影響を受けやすいため、ご 使用されない場合は、ビニール袋に入れ密封してください。
- ・第2原図を高湿や低温環境下でご使用の場合は、環境の変化等により用紙に腰が無くなり、コピーにしわができたり、 画像が白くぬけたりする場合があります。画像に異常が起こる場合は、以下の処理を行ってください。
  - 第 2 原図カット紙をご使用の場合
  - 用紙のセット方向(縦・横)を変えてセットしてくださ い。
  - 第2原図ロール紙をご使用の場合
  - ロール紙を約1巻き分引き出してカットしてからご使用く ださい。
- ・粘着物の付着しているロール紙をご使用の際には、粘着物を 取り除くか、粘着物の無くなる部分までロール紙を引き出し てカットしてからご使用ください。

#### 3章 ご使用前の準備

- (2)ロール紙のセット方法
- ロール紙を交換するときも同じ要領で行ってください。

#### 重要

- ・ロール紙を交換するときは、両側のフランジを回して用紙を 巻き取ってください。
  - **1** 前カバーをロックするまで開けてください。
  - 2 ロールユニットの取手 (A) を持ってロックを解除し、 ロールユニットを手前いっぱいに引き出してください。



3 解除レバー を引き上げて両側のフランジ受け を用 紙サイズに合わせてください。



4

付属のフランジを新しいロールの芯に挿入してください。



5 フランジをもってそのレバーを矢印方向に回し、フラ ンジに記された(内側と外側の) マークを合わせて ください。フランジがロール紙に固定されます。



#### 重要

- ・フランジのレバーを回しにくいときには、付属品のフランジハンドル®をセットし、フランジハンドルを矢印方向に回し、フランジに記された(内側と外側の)マークを合わせてください。
  - フランジを抜くときにも、レバーを回しにくいときには フランジハンドルを使用してください。



- 6 もう一方のフランジも同様にロール紙に固定してくだ さい。
- 7 フランジ受け に合わせてロール紙をロールユニット にセットしてください。 ロール紙をセットした後、フランジが動いていないか 確認してください。



- 8
- 両側のロール紙挿入つまみ をつまんでロール紙挿入 カバー を開いてください。







#### 補足

・ロール紙の先端が折れている、または、破れている場合は、 カッター等で先端をカットしてください。



10 ロール紙挿入つまみをつまんでロール紙挿入カバーを 確実に閉じてください。

重要

・セットしたロール紙にたるみがある場合は、フランジを持っ てロール紙を巻き戻し、たるみを取ってください。用紙が斜 めに給紙されるおそれがあります。



- 11 ロールユニットを機械本体にしっかりと押し込んでく ださい。
- 12 前カバーを閉めてください。
- **13** ロール紙の先端を揃えるため、用紙カットキーを押し てください。カットされたロール紙がコピー排出口か ら排出されます。



#### 補足

・通常の場合は279mmの長さでカットされますが機内温度が15 以下の場合、第2原図は800mmの長さでカットされます。

(3)保温ヒーターについて

高湿(70%RH以上)や急激な温度変化があるときは保温ヒー ターのスイッチをON(|)にしてご使用ください。メインス イッチがOFF(①)の状態でも保温ヒーターをON(|)に することができます。



#### 重要

 ・第2原図、フィルムを使用される場合は必ず保温ヒータース イッチをOFF()でご使用ください。
 用紙にしわが発生したり、波をうつ恐れがあります。

#### 3章 ご使用前の準備

#### (4)カセット(オプション)への用紙のセット

カセット(オプション)へ用紙をセットするときは以下の手順で行ってください。

#### 重要

使用できる用紙種、用紙サイズとセット可能枚数 普通紙:A4タテ、A3 ヨコ...250枚(64g/m<sup>2</sup>) 第2原図、フィルムは使用しないでください。紙づまりの 原因になります。

A4 サイズの用紙は横にセットしないでください。紙づま りの原因となります。



1

前カバーをロックするまで開けてください。





#### 重要

3

奥側にとびだした用紙は必ず引き戻してください。 紙がとびだしたまま用紙を追加すると紙づまりの原因となります。

> 用紙をセットしてください。 用紙がどの高さまで収納できるかラベル®を貼っ ています。ラベルのメモリ以下に用紙をセットし てください。



**4** 用紙幅ガイドレバー ⓒ をつまみ、用紙幅に合わせて ください。





は、前カバーがきちんと閉まりません。

(5)コピー受け補助板の使い方

コピーする用紙に合わせてコピー受け補助板をセットしてください。

 コピー受け補助板を上に傾け、コピー受けのサイズラ ベルに合わせてセットしたいサイズにスライドさせま す。



**2** セットしたいサイズで、コピー受け補助板を水平に戻します。



3 もう一方のコピー受け補助板も同じ手順で同じ高さに セットしてください。

なお、ご使用になる用紙および環境によっては、サイ ズラベルの位置ではうまく収納できない場合がありま す。そのような場合はコピー受け補助板の位置を上下 に調整してください。

4章 基本的なコピー

### 1.コピーをとる前に

#### (1)初期状態について

本機のメインスイッチをON(|)にし、ウォームアップが 終了してコピー可能になった状態を初期状態といい、このと き表示される画面を基本画面といいます。

コピーをとる前に、本機が初期状態になっているか必ず確認 してください。

リセットキーを押すと初期状態になります。なおオークトリ ア機能が働いた場合も同様です。

オートクリア機能が働いた場合には、濃度表示は初期状態の 設定値には戻りません。



#### (2)節電表示が点灯している場合

操作パネルで節電表示が点灯し、その他の表示が消灯してい るときは、本機は節電状態になっています。 節電キーを押すとウォームアップを開始します。



#### (3)キーカウンタ(オプション)を使用しているとき

"キーカウンタをセットして下さい"とメッセージが表示され ているときは、本機にキーカウンタをセットする必要があり ます。本体右側のキーカウンタ挿入口にキーカウンターを奥 まで差し込んでください。



(4)キーカード(オプション)を使用しているとき

"キーカードをセットして下さい"とメッセージが表示されて いるときは、キーカード本体に専用の部門カードをセットす る必要があります。

キーカード本体のカード挿入口に専用の部門カードを奥まで 差し込んでください。





### 2. 基本的なコピーのしかた



1 メインスイッチを ON

メインスイッチを())にしてください。約600秒間、ウォー ムアップを行います。

メッセージ表示に "原稿読み込み可能です" と表示が出ているとき は、原稿の読み込みやコピー機能の設定を行うことができます。

"コピーできます"が表示されるとコピーできるようになります。 メインスイッチのON/OFFを連続して行う場合は必ず1秒 以上間隔をあけて行ってください。間隔が1秒以下の場合、機 械が正常に起動しないことがあります。



2 コピーモードの選択(P4-4 参照) 自動用紙選択モード、自動倍率選択モードを選択するときは

自動用紙/倍率キーを押してください。



3 給紙段の選択

給紙段選択キーを押して給紙段の選択をしてください。 メッセージ表示には給紙段を示す数字が表示されます。 手差しを選択したときは、余白設定、枠消し設定、自動用紙 選択モード、自動倍率選択モードが使用できません。



4 用紙種類の選択(P4-5 参照)

用紙種選択キーを押して用紙の種類を選択してください。" 普通紙 "、" 第 2 原図 "、" フィルム "、" カスタム " の中からご使用の用紙を選択できます。



5 カット寸法の選択(P4-6 参照)

カット選択キーを押して用紙のカット方法を選択してくださ い。"シンクロカット"、"定寸カット"、"テンキー入力"の中 から選択できます。



6 原稿濃度の選択

原稿指定キーを押してください。 キーを押して原稿の種類を 選択し、OKキーで確定してください。

- "標準原稿": 図面や新聞などの標準的な原稿です。キャリアシートをご使用の際にも標準原稿に設定してください。
- "文字/線画":文字と線画が混在している原稿のときに設定して ください。
- "写真": 写真やポスターなどの原稿のときに設定してください。



#### 7 コピー濃度の選択

手動でコピー濃度を調整するときはコピー濃度調整キーを押 してください。コピー濃度表示の点灯表示が右に行くほど濃 くなります。標準原稿を選んでいるときのみ点灯表示が"7" まできて更に濃くするときは、右側のコピー濃度調整キーを 押してください。こい濃度表示が点灯し、点灯表示が"1" に移動します。さらに"7"まで濃度を濃くできます。



自動でコピー濃度を調整するときは、自動濃度キーを押して ください。自動濃度表示が点灯します。



10 用紙のセット(P4-8 参照) 手差し選択時のみ行ってください。



11 原稿のセット(P3-2 参照) 原稿をセットすると自動的にコピーが開始します。 初期設定「12 コピー開始方法」の設定によって、コピーを 開始する際、スタートキーを押す必要があります。(P7-5 参照)



#### 8機能の設定

各機能を参照し設定を行ってください。



9 コピー枚数の選択

テンキーを使ってコピーする枚数を、1~99枚の間で入力 してください。 コピー枚数の初期値は1枚です。



 12 コピーの終了
 仕上がった用紙はコピー受けに収納されます。
 コピー受け収納枚数:15枚(A0 普通紙、常温常湿時)
 20枚(A1 普通紙、常温常湿時)
 1枚(その他のサイズの普通紙および 第2原図とフィルム)

### 3. コピーモードについて

本機のコピーモードには、"自動用紙"、"自動倍率"、"手動" があります。初期状態時に選択されるコピーモードを、初期 設定の「⑩自動選択設定」で変更することができます。 (P7-5参照)



#### (1)自動用紙選択モード

原稿をセットしたときに、原稿サイズと倍率で決まるサイズ の給紙段が選択されます。自動用紙選択モードにするときは、 自動用紙 / 倍率キーを押し、メッセージ表示に"自動用紙"を 表示させてください。

コピーできます	
	1枚
自動用紙	D普通紙
100%	×シンクロm

(2)自動倍率選択モード

原稿をセットしたときに、選択されている用紙サイズに合わ せてコピー倍率を自動設定します。自動倍率選択モードにす るときは、自動用紙/倍率キーを押し、メッセージ表示に" 自動倍率 "を表示させてください。



補足

- ・手差しを選択した場合のコピー倍率は、100%になります。
- ・初期設定の「① 自動回転コピー」を"OFF"にすると、原 稿幅サイズと指定した用紙の幅サイズに合わせてコピー倍 率を自動的に設定します。
- ・初期設定の「①自動回転コピー」を"ON"にすると、原稿 と指定した用紙の方向が違っていた場合、自動的に画像を反 時計まわりに90°回転してコピーできます。

(3)手動モード

給紙段と倍率を選択してコピーします。

#### 補足

- ・手差しは自動では選択されません。
- ・自動用紙選択モードが設定されているときに、給紙段選択 キーを押した場合に、自動倍率選択モードに移行させたい 場合は初期設定の「①自動倍率優先」を"ON"にしてく ださい。(P7-5参照)
- ・初期設定の「①自動回転コピー」を"ON"にすると、原稿 とセットされた用紙の方向が違っていた場合、自動的に画像 を反時計まわりに90°回転してコピーできます。



### 4. 用紙種類の選択

用紙種選択キーを押すと、"普通紙"、"第2原図"、"フィルム"、"カスタム"の中からご使用の用紙種を選択できます。 用紙種を選択すると用紙の種類に合わせて自動的に定着温度、 等倍度を調整します。

"カスタム"を選択すると初期設定の「<sup>1</sup><sup>(1)</sup> カスタム紙種設定」 で設定した用紙種、定着温度、等倍度に調整されます。(P7-3参照)

初期設定の「② 給紙段用紙種連動」を"ON"に設定すると、 各給紙段にセットされている用紙種を登録できます。給紙段 選択キーを押して給紙段を選択すると、用紙種の設定を自動 的に変更します。初期設定の「② 給紙段用紙種連動」と「③ 用紙種設定」を参照してください。(P7-1 参照)

用紙種選択キーを押してください。

1



2 キーを押して、使用する用紙を選択してください。 "普通紙"、"第2原図"、"フィルム"、"カスタム"から 用紙の種類を選択してください。

用紙種選択:	
普通紙	
�第2原図	
• フィルム	



4 メッセージ表示に選択した用紙の種類が表示されているか確認してください。 用紙種を変更した場合は、定着温度が安定するまでしばらくお待ちください。ただし原稿読み込みは可能です。



### 5. ロール紙カット長さの選択

#### (1)シンクロカット

原稿の用紙長さとコピー倍率に応じて用紙をカットします。 シンクロカットでカットされる用紙の最短長さは279mm で す。縮小コピーなどで原稿サイズが279mm未満になる場合 であっても用紙の後端に余白がつき、279mmの長さでカット されます。

1 カット選択キーを押してください。



**2** "シンクロカット"が選択されていることを確認して ください。

カット選択:	279 m~6000 m
シジンクロカット	
定すカッド	•
テンキー入力	

3 OKキーを押してください。 基本画面に戻ります。

#### (2) 定寸カット

定形サイズの用紙長さや、あらかじめ登録した用紙長さで用 紙をカットします。以下の長さが選択できます。

カット寸法	
(A列)	(B列)
1189mm	1030mm
841mm	728mm
594mm	515mm
420mm	364mm
297mm	ユーザ1(初期1000mm)
ユーザ1 ( 初期 1000mm)	ユーザ2(初期2000mm)
ユーザ2(初期2000mm)	

A列、B列は初期設定の「13 定形サイズ切替」により選択 できます。(P7-3 参照)

ユーザー1,ユーザー2には任意のカット寸法を登録できます。初期設定の「④ 定寸カット登録」を参照してください。(P7-4参照)







キーを押して、"定寸カット"を選択してください。

シンクロカット	
◆定寸カット ▶	
テンキー入力	

۱.



**4** キーを押して、カットする長さを選択してください。

定寸カッ	· • :
<b>59</b> 4×1	1189m
�594×	841 m: A 1 🖓
<b>-</b> 594×	594 m
+ <u> </u>	JJ4 III

5 OKキーを押してください。 基本画面に戻ります。 (3)テンキー入力

カット寸法をテンキーを使って入力します。手差し用紙は カットを選択できません。

1	カット選択キーを押してください
---	-----------------



キーを押して"テンキー入力"を選択してください。 2

カット選択: 279 m	~6000 m	
シンクロカット		
定寸カット ▶		
<b>↓</b> ランキー入力	<b>0</b> 594×	0m

 テンキーを使って、カット寸法を入力してください。

 入力できるカット寸法は 279 ~ 6,000mm です。

カット選択: 279;	r≈~6000 r
シンクロカット	
定寸カット ▶	
<b>♪</b> テンキー入力	<b>1</b> 594× <b>358</b> #

補足

・カット選択キーを押した後はテンキー入力は可能です。

4 OKキーを押してください。 基本画面に戻ります。選択した寸法が表示されている か確認してください。

#### 4章 基本的なコピー

### 6.手差しコピー

手差しを使ってコピーするときは以下の手順で行ってくださ い。

補足

- ・手差しにセットできる用紙の枚数は1枚です。
- ・手差しでカールした用紙にコピーされる場合は、カールを のばしてご使用ください。それでもカールしている場合は カール面を上にしてご使用ください。
- ・手差しを使用してコピーするときは、余白設定、枠消し設 定、自動用紙選択モード、自動倍率選択モードを使用でき ません。

1 コピー枚数など各種設定を行ってください。

- 5 原稿をセットしてコピーしてください。
- 6 "手差しに用紙をセットして下さい"が表示されたら 次の用紙を手差しにセットしてください。コピーを開 始します。必要枚数分手差しに用紙をセットしてコ ピーしてください。

2 給紙段選択キーを押して"手差し"を選択してください。

**3** 手差しテーブル上の両側の用紙サイズ指示に手差しガイドを合わせてください。



印字する面を下向きにし、用紙サイズ指示に合わせて 奥まで差し込んでください。

手差しに用紙をセットするときは、速やかに奥まで差 し込み、本機が給紙し始めましたら、手を離してくだ さい。正しくセットされないと、紙詰まりを検知する 場合があります。

また、斜めに用紙を差し込んでしまった場合には一旦 用紙を引き出して、再度差し込んでください。



4

### 7.コピーの中止

コピーの中止方法は状況により異なります。 状況に合わせて操作を行ってください。

状況	
原稿の読み込みを即時中止する。	緊急原稿ストップキーを押してください。原稿の読み込みを中止します。原稿 押さえを開いて、原稿を取り除いてください。
ソート / グループコピー時に原稿読み込みを 中止する。	ストップ/クリアキーを押してください。
出力中に用紙の出力を即時中止する。(出力 中の用紙を途中でカットする。)	用紙カットキーを押してください。
出力中に用紙の出力を中止する。(出力中の 用紙が排出されてから停止する。)	ストップ / クリアキーを押してください。
予約したジョブを中止する。	ジョブ予約キーを2秒以上押し続けると、ジョブ予約を削除する画面が表示され ます。 「(2)ジョブ予約の削除」を参照し、キャンセルするジョブを削除してください。 (P6-8 参照)
再コピーの予約を中止する。	再コピーキーを押してください。
5 章 機能的なコピー

# 1. 縮小 / 拡大モード

▲トキーを押してコピー倍率を設定できます。25%から 400%の間で1%または0.1%刻みで設定できます。その 他、コピー倍率の設定方法は以下の通りです。



(1)固定变倍

使用するコピー倍率を直接選択して拡大 / 縮小するコピーで す。 選択できるコピー倍率は「コピー倍率表」を参照してくだ

速抓できるコピー倍率は、コピー倍率衣」を参照してくた さい。

#### コピー倍率表

#### サイズ表示 倍率表示 A列 (0.1%) (1%) B列 400.0% 400% Α4 Α0 A0、A4 282% 282.9% Α3 A 1 Β4 Β1 A0、A3 A1、A4 B1、B4 200.0% 200% Α2 Α2 Β3 Β2 141.4% 141% A0、A2 A1、A3 Α2 B1、B3 B2、B4 A 1 Β2 Β3 70.6% 70% A1、A1 A2、A2 B2、B2 B3、B3 Β4 Α0 Α3 Β1 50.0% A2、A1 A3、A2 B3、B2 Β4 50% Α0 Α4 Β1 A3、A1 35.2% 35% Α0 Α4 Β1 Β4 25.0% 25% Α0 Α4

### 補足

- ・コピー倍率のステップを1%または0.1%に変更するとき には初期設定の「② 倍率ステップ」を参照してください。 (P7-4 参照)
- ・コピーモードとして「自動用紙」が選択されているときに、
   コピー倍率を変更すると自動的に用紙サイズも変更します。
- ・倍率ステップが1%刻みに設定されている場合は小数点以下の数字は切り捨ててコピーされます。
- ・用紙のカット長は最短で279mmです。縮小コピーとシン クロカットを設定した時、用紙長さが279mm未満になる 場合には279mmの長さでカットされ、用紙の後端に余白 がつきます。
- ・縮小コピーをするときは、使用する原稿の最大長さよりも 初期設定の「23 縮小コピー可能原稿長」に登録されている 数字を大きくしてください。(P7-7 参照)

1 縮小/拡大キーを押してください。



**2** "固定变倍"が選択されていることを確認してください。



- **3** OKキーを押してください。
- 4 キーを押してコピー倍率を選択してください。

固定変倍:	
▲ 70%	╔ ┛1╗→80╚ ╝
100%	A2∐→A1🖓
<b>, \$</b> 141%	LA3(]→A2 🖓 📗

5 OKキーを押してください。 基本画面に戻ります。倍率が表示されます。 (2) ユーザー設定変倍

あらかじめユーザー 1 からユーザー 5 に登録してある任意の コピー倍率を選択してコピーします。

補足

・ユーザー1からユーザー5にコピー倍率を登録するときに は初期設定の「③ 変倍登録」で、あらかじめ任意のコピー 倍率を登録してください。(P7-4参照)

1 縮小/拡大キーを押してください。



**2** キーを押して、"ユーザー設定変倍"を選択して ください。

縮小/拡大:	25%~400%
	固定変倍 ▶
⇒	ユーザー設定変倍 ▶
	独立変倍 ▶

- **3** OKキーを押してください。
- **4** キーを押して、目的のコピー倍率を選択してくだ さい。

ユーザー設定タ	変倍:		
ユーザ - 1	: 102%		
<b>ゆ</b> ューザ -2	:X 200%	y	95%
<b>,</b> ב-∜-3	: 43%		

5 OKキーを押してください。 基本画面に戻ります。倍率が表示されます。

### (3)独立変倍

用紙幅方向と長さ方向のコピー倍率を別々に設定することが できます。







縮小/拡大:	25%~400%
	固定変倍 ▶
	ユーザー設定変倍♪
, ÷	▶ <u>独立変倍 ▶</u>





独立変倍:25%~4	00%	
倍率…、♠++- 決定…∭+-		< <mark>∞101%</mark>
	\$ 100%	

- 5 キーを押してください。
- 6 キーまたはテンキーを押して、長さ方向(Y)の コピー倍率を入力してください。

独立変倍:25%~4	00%	
倍率┉◀\$▶キー 決定┉┉キー	•	₩101%
	\$ 99%	

- **7**  $OK = -\delta \# UC < \delta c > 0$
- 基本画面に戻ります。倍率が表示されます。
   ▲▶ キーを使って、コピー倍率を修正することもできます。

(4) ズーム変倍

▲▶ キーまたはテンキーをつかって、コピー倍率を入力できます。

1 縮小/拡大キーを押してください。



**2** キーを押して、"テンキー / ズームキー入力"を 選択してください。



- 3 <▶ キーまたはテンキーを使って、コピー倍率(25 ~ 400%)を変更してください。
- 4 OKキーを押してください。基本画面に戻ります。
   ◄▶ キーを使って、コピー倍率を修正することもできます。

補足

縮小 / 拡大モード時に、 **▲**▶ キーまたはテンキーを押すとす ぐに " テンキー / ズームキー入力 " を行えます。 拡大 / 縮小キーを押して、

▲▶ キーまたはテンキーを押して、コピー倍率を設定して ください。

# 2. 編集機能

#### (1) 画像移動

用紙に対してコピー画像を上下方向また左右方向に移動させてコピーします。画像の移動幅は上下、左右とも最大200mmで1mm単位で変更できます。

等倍コピー時にシンクロカットを選択すると、原稿の用紙長さと用紙長さは同じになります。





#### 補足

・上下移動、左右移動のそれぞれ移動幅の初期値は初期設定 の「② 編集機能初期値」で設定できます。(P7-7参照) ▲ 編集機能キーを押してください。





キーを押して"画像移動"を選択してください。

編集機能	
에에 가도 나오 만드	
<b>#</b> \$~1	
人圆面换较新	$\cdot \land \models \models$
Y凰興歌役别	UFF F
- 岡仝白	$\cdot \land \vdash \vdash$
▼ ◎자ロ	.011

- 3 0 K キーを押してください。
  - ・画像を上下方向に移動させるとき次の手順に進んでください。
  - ・画像を左右方向に移動させるとき手順10に進んで ください。
  - ・画像移動をすべて解除するときには手順17に進ん でください。

> 上下方向の設定



キーを押して"上下移動"を選択してください。



**5** O K キーを押してください。

### 5章 機能的なコピー

6 メッセージの上段に移動方向と移動幅が表示されます。
 ・設定値を変更するときは、キーを押して"値変更"を選択してください。
 ・設定値を変更しないときは、"ON"の選択を確認してください。



- 7 OKキーを押してください。 ・"値変更"を選択したときは、次の手順に進んでください。 ・"ON"の選択をしたときは、手順10に進んでください。
- 8 キーを押して上下を選択し、テンキーで移動幅を 変更してください。



- **9** OKキーを押してください。
- > 左右方向の設定
- 10 画像を左右方向に移動させるときは、キーを押し て"左右移動"を選択してください。 設定を終了するときは"終了"が選択されていること を確認して、OKキーを押してください。基本画面に 戻ります。



**11** OK キーを押してください。

- 12 メッセージの上段に移動方向と移動幅が表示されます。
  - ・設定値を変更するときは、キーを押して"値変 更"を選択してください。
  - ・設定値を変更しないときは、"ON"の選択を確認して ください。
- 13 OKキーを押してください。 ・"値変更"を選択したときは、次の手順に進んでくだ さい。
  - ・"ON"の選択をしたときは手順16に進んでください。
- **14 ◆** キーを押して左右を選択し、テンキーで移動幅 を変更してください。



**15** OKキーを押してください。

16 設定を終了するときは " 終了 " が選択されていること を確認して、OK キーを押してください。基本画面に 戻ります。

> 画像移動をすべて解除

**17** 画像移動をすべて解除するときは、 キーを押して "機能解除"を選択、OK キーを押してください。基本 画面に戻ります。

### (2)余白

#### 先端余白

用紙の先端(原稿挿入方向)に余白をつけて、または余白を カットしてコピーします。余白の幅はともに最大200mm で1mm単位で変更できます。

等倍コピー時にシンクロカットを選択し、先端余白をつける と、用紙長さは原稿の長さと余白を足した長さになります。 また先端余白をカットすると、用紙長さは原稿の長さから余 白を引いた長さになります。ただし用紙の最短カット長は 279mmです。



後端余白

用紙の後端(原稿挿入反対方向)に余白をつけて、または余 白をカットしてコピーします。余白の幅は最大 200mm で 1mm 単位で変更できます。

等倍コピー時にシンクロカットを選択し、後端余白をつける と、用紙長さは原稿の長さと余白を足した長さになります。 また後端余白をカットすると、用紙長さは原稿の長さから余 白を引いた長さになります。ただし用紙の最短カット長は 279mmです。



全面出力

原稿の先端から後端まで画像がある場合、コピー画像が欠け てしまうことがあります。全面出力を行うと、コピー原稿の 先端と後端に余白10mmをつけてコピーを行い、コピー画 像を欠くことなくコピーできます。



全面出力

- 補足
- ・先端、後端のそれぞれ余白の初期値は初期設定の「②)編集 機能初期値」で設定できます。(P7-7参照)
  - ▲ 編集機能キーを押してください。





キーを押して"余白"を選択してください。



**3** OKキーを押してください。

- ・先端に余白を付けるときは次の手順に進んでください。
  - ・後端に余白を付けるときは手順10に進んでください。
  - ・全面出力を行うときは手順17に進んでください。
  - ・余白をすべて解除するときは手順21に進んでくだ さい。
- > 先端余白の設定

キーを押して"先端"を選択してください。



OKキーを押してください。 5

### 5章 機能的なコピー

- 6 メッセージの上段に余白が表示されます。"+"は先 端に付加される幅です。"-"は先端で切り取られ る幅です。
  - ・設定値を変更するときは、キーを押して"値変 更"を選択してください。
  - ・設定値を変更しないときは、"ON"が選択されている ことを確認してください。



- 7 OKキーを押してください。 ・"値変更"を選択したときは、次の手順に進んでください。 ・"ON"を選択したときは、手順10に進んでください。
- 8 キーを押して "+"、"-"を選択し、テンキーで 余白を変更してください。

先端値変更: 0㎜	~200¤	
+-切替Ⅲ \$*- 入力Ⅲテンキ-	+ ]m	
決定⋯┉…+-		

**9** OKキーを押してください。

- >後端余白の設定
- **10** 後端の余白を設定するときは、 キーを押して"後端"を選択してください。 設定を終了するときは手順16に進んでください。



**11** OK キーを押してください。

- **12** メッセージの上段に余白が表示されます。"+"は後端に付加される幅です。"-"は後端で切り取られる幅です。
  - ・設定値を変更するときは、キーを押して"値変 更"を選択してください。
  - ・設定値を変更しないときは、"ON"が選択されている ことを確認してください。



- **13** OKキーを押してください。
  - ●・"値変更"を選択したときは、次の手順に進んでください。

・"ON"を選択したときは、手順16に進んでください。





**15** OKキーを押してください。

**16** 設定を終了するときは "終了 "が選択されていること を確認して、OK キーを押してください。基本画面に 戻ります。

> 全面出力を設定

17

キーを押して"全面出力"を選択してください。

**<sup>18</sup>** OKキーを押してください。

**19** キーを押して "ON" を選択してください。

全面出力:	
�0N 0FF	

20 OKキーを押してください。設定を終了するときは "終了"が選択されていることを確認して、OKキー を押してください。基本画面に戻ります。

> 余白をすべて解除

21 余白をすべて解除するときは、 キーを押して"機 能解除"を選択し、OKキーを押してください。基本 画面に戻ります。

(3)枠消し

用紙の外枠の原稿画像を消してコピーします。枠消し幅は最 大 200mm で 1mm 単位で変更できます。



#### 補足

・枠消し幅の初期値は初期設定の「② 編集機能初期値」で設 定できます。(P7-7 参照)

編集機能キーを押してください。



キーを押して"枠消し"を選択してください。



**<sup>3</sup>** OKキーを押してください。

2

4 メッセージの上段に枠消し幅が表示されます。

- ・設定値を変更するときは、キーを押して"値変 更"を選択してください。
  - ・設定値を変更しないときは、"ON"が選択されている ことを確認してください。



- 5 OKキーを押してください。 ・"値変更"を選択したときは、次の手順に進んでくだ さい。
  - ・"ON"を選択したときは、基本画面に戻ります。





OKキーを押してください。
 基本画面に戻ります。

- (4)鏡像
- 原稿画像の左右を反転させてコピーします。







2

キーを押して"鏡像"を選択してください。

<b>編集機</b> 能:		
▲ 圆余白	:0FF	
⑧枠消し	:0FF	
•>圆鏡像	: OFF	

- **3** OKキーを押してください。
- 4 鏡像を行うときは、 キーを押して "ON" を選択し てください。





(5) 画像回転

画像を90度回転してコピーします。



1 編集機能キーを押してください。





キーを押して"画像回転"を選択してください。



**3** OKキーを押してください。



5 ОКキーを押してください。基本画面に戻ります。

# 3. ソート / グループコピー

### (1) ソートコピー

多枚数の原稿からページ揃えを行い多部数コピーします。



#### 補足

・初期状態(リセットキーを押した後の状態)で、ソートモードにするときは、P7-7、初期設定「@連続読み込み設定」を参照してください。

4 "次の原稿を挿入して下さい"が表示されれば、次の 原稿の各種設定を行ってください。

次の原稿を挿入して	下さい	01
読み込み終了…圖キー		2部
	口第2月	図
100%	0 A1	

5 次の原稿をセットしてください。原稿の読み込みを開始します。読み込まれた原稿は1枚だけそれぞれコピーします。 手持ちの原稿分手順4、5を繰り返してください。

補足

- ・最大読込み枚数は160枚です。ジョブ予約で行うときの最 大読込み数はP7-6初期設定「20最大ジョブ予約数」を参照 してください。
- 1 ソート / グループキーを 1 回押してください。ソート / グループ表示が点灯します。



2 コピー部数など各種設定を行ってください。



3 1 枚目の原稿をセットしてください。原稿の読み込み を開始します。その原稿のコピーを1 枚行います。

- 6 原稿の読み込みが終了したらOKキーを押してください。
- **7** コピー部数の変更をするときは、テンキーでセットしてください。



8 スタートキーを押してください。残りの部数のコピー を開始します。



(2)グループコピー

多枚数の原稿から原稿ごとに同一枚数のコピーをします。



#### 補足

- ・初期状態(リセットキーを押した後の状態)で、グループモードにするときは、P7-7、初期設定「@連続読み込み設定」を参照してください。
  - 1 ソート / グループキーを2回押してください。 ソート / グループ表示が点灯します。





コピーできます	「(グループ)
	4部
	<b>□第</b> 2原図
100%	0 A17

### 補足

- ・原稿読み込み時あるいは読み込んだ後にコピー枚数の変更は できません。
- **3** 1 枚目の原稿をセットしてください。原稿の読み込み を開始します。コピーを行います。

4 "次の原稿を挿入して下さい"が表示されれば、次の 原稿の各種設定を行ってください。



5 次の原稿をセットしてください。原稿の読み込みを 開始します。 手持ちの原稿分手順4、5を繰り返してください。

#### 補足

・最大読込み枚数は160枚です。ジョブ予約で行うときの最 大読込み数はP7-6初期設定「20最大ジョブ予約数」を参照 してください。



6 章 便利な機能

# 1. 調整機能

#### 補足

1

コピーの仕上がりを一時的に調整したい場合に設定を行って ください。リセットキーを押した場合や、オートクリア機能 が働いた場合に、初期状態に戻ると、調整機能の設定は解除 されます。

(1) 傾き補正

原稿の画像が傾いているときに設定してください。



- **3** OKキーを押してください。
- 4 <-> キーを押して補正角度を設定してください。 左右に 0.0 °から 1.0 °までは 0.1 °刻みで、1.0 ° 以上は 1.2 °と 1.5 °に設定できます。



**5** OKキーを押してください。

調整機能キーを押してください。



2 キーを押して"傾き補正"を選択してください。



6 調整機能キーを押してください。基本画面に戻りま す。

画面下に傾き補正を示す表示記号が表示されます。

### (2)等倍度微調整

コピーされた画像が原稿画像と大きさが異なる場合に設定し てください。



5 用紙長さ方向(Y)の等倍度を調整するには、 キーを押して設定してください。 -3.0%から3.0%の間で0.1%刻みで設定できます。



**6** OKキーを押してください。

7 調整機能キーを押してください。 基本画面に戻ります。画面下に等倍度微調整を示す表示記号が表示されます。





2

キーを押して"等倍度微調"を選択してください。



**3** O K キーを押してください。

4 用紙幅方向(X)の等倍度を調整するには、 <トーを押して設定してください。

等倍度微調:-3.0%~+3.0% 調整┉↔キ+ .....**→ |**•×▶ +0,1% 決定……[18]+-┶ 0.0%

### (3)定着温度微調整

定着温度を微妙に調整する場合に設定してください。定着温 度を調整することでトナーの定着する具合が変わります。用 紙が厚いときには定着温度を高めに、用紙が薄いときには定 着温度を低めに設定してください。



### 調整機能キーを押してください。

1





- **3** O K キーを押してください。
- **4** キーを押して定着温度を調整してください。 -5 から5 の間で1 刻みで設定できます。



- **5** OKキーを押してください。
- 6 調整機能キーを押してください。 基本画面に戻ります。画面下に定着温度微調整を示す 表示記号が表示されます。

# 2. 再コピー機能

本機はメモリーに画像を読み込み、コピーを行います。 再コピー機能は、メモリー内の画像を使ってコピーを行う機 能です。コピー濃度や倍率などの設定を変更してコピーする こともできます。

読み込んだ画像データは次の原稿画像を読み込むまで、また はオートクリアが機能するまで本機のメモリーに保存されま すが、メモリー内の画像データを消去することもできます。

#### 補足

- ・再コピー機能は初期設定の「⑦ 再コピー許可」を変更する ことにより、禁止または制限することができます。(P7-6 参照)
- ・再コピーを行うとき設定を変更できますが、「鏡像設定」、 「ソート / グループ」、「初期設定」はできません。
- ・再コピーで最初のコピー倍率よりも縮小する場合、メモリ 不足になる場合があります。
- ・最初のコピー倍率を99.9%以下で行った場合、再コピー でその倍率を10%を越えて拡大できません。

2 再コピーコード入力の画面が表示された場合には、テ ンキーを使って再コピーコードを入力してください。 (初期設定は4850です)

再コピーコードを入力して下さい

- 3 必要に応じて各種設定を変更してください。
- **4** スタートキーを押してください。 出力を開始します。

(1)再コピーのしかた

1 コピー終了後、"再コピー…再コピーキー"とメッ セージに表示されます。 再コピーキーを押してください。再コピー表示が点灯 し"再コピーできます"とメッセージに表示されます。

〇 ジョブ予約

◎ 割り込み

0 16 12

リセット

0 (()-+

0 (+>7)

☽

3

6

9

ストップ /クリア (2) ソート / グループ後の再コピー

ソートやグループコピーを行った後、コピー部数を変更すると きは"追加コピー"を、同じ用紙サイズに自動変倍してコピー するときは"全原稿に自動倍率コピー"を選択してください。

#### 補足

- ・" 全原稿に自動倍率コピー"を選択した場合に変更できる設 定は、給紙段、用紙長さ、用紙の種類、部数です。
- ・60 枚を越える読み込みを行い、コピー出力後の再コピー では、"全原稿に自動倍率コピー"は選択できません。
  - コピー終了後、"再コピー…再コピーキー"とメッセージに表示されます。
     再コピーキーを押してください。再コピー表示が点灯し"再コピーできます"とメッセージに表示されます。
  - 2 再コピーコード入力の画面が表示された場合には、テンキーを使って再コピーコードを入力してください。 (初期設定は4850です)



部数のみを変更するときは、 キーを押して"追加 3 部数ツックシュー コピー"を選択してください。 各種設定を変更するときは、 キーを押して"全原 稿に自動倍率コピー"を選択してください。

> 再コピー(ソート): 追加コピー 今全原稿に自動倍率コピー

- OKキーを押してください。
- 4 ・" 追加コピー "を選択したときは次の手順に進んで ください。
  - ・" 全原稿に自動倍率コピー"を選択して手順6に進 んでください。

(3) 画像データの消去

再コピー設定中にリセットキーを押すとメモリ内の画像デー タが消去されます。

誤って画像データを消去しないように、画像消去の確認画面 を表示させることができます。初期設定の「16 リセットキー 画像消去」を"再コピー時確認"に設定してください。(P7-6 参照)"再コピー時確認"にしている場合、再コピー設定中に リセットキーを押すと下のような確認画面が表示されます。



キーを押して、選択してください。

す。画像データは消去されません。

OKキーを押してください。

"再コピー中止(画像消去)"を選択すると、画像データを 消去して初期状態にもどります。 "再コピー継続"を選択すると、コピーの設定をクリアしま

テンキーでコピー部数を入力してください。手順7 5 に進んでください。









# 3. サンプルコピー

長い原稿をコピーする時にまず最小長さのコピーを行い、コピー機能やコピー濃度を確認することで、用紙のむだを少なくできま す。本機には、次のようなサンプルコピー機能があります。

#### 機能サンプル

編集機能や縮小 / 拡大モードを設定したときや、用紙種を変 更したときなどに機能サンプルを出力してください。現在の 設定のままコピーした場合のサンプルを先端から 279mm の長さで用紙がカットされ出力されます。サンプルを見て各 種設定を確認、調整してください。



濃度サンプル

コピー濃度を7段階に分けてサンプルが出力されます。原稿の 先端から0~6000mmの部分をサンプルとし330mm(写 真原稿は370mm)出力します。サンプルを見て、コピー濃度 の設定を確認、調整してください。



補足

- ・機能サンプルと濃度サンプルは初期設定の「22 サンプルコ ピー設定」で変更できます。(P7-7 参照)
  - 1 必要に応じて使用するコピー機能、コピー濃度などの コピー方法を設定してください。

**2** サンプルコピーキーを押してください。サンプル表示 が点灯します。



濃度サンプルを出力するときは、原稿の先端位置を テンキーで入力してください。OKキーを押してく ださい。



- **3** 原稿をセットしてください。コピーが開始し、サンプ ルが出力されます。
- 5 再コピーキーを押してください。再度サンプルを出力 する時には、スタートキーを押してください。 原稿全体のコピーを開始する時には次の手順に進んで ください。 初期設定の「① 再コピー許可」を"禁止"に設定してい る場合には、原稿をセットしなおしてコピーを出力し てください。また、"コード入力"に設定している場合 には、テンキーを使って再コピーコードを入力してく ださい。(P7-6参照))
- **6** サンプルコピーキーを押してください。サンプル表示 が消灯します。
- **7** コピー枚数を確認して、スタートキーを押してください。出力を開始します。

# 4. ジョブ予約機能

コピー中に次のコピージョブを予約することができます。予 約されたコピージョブは現在のコピーの出力が終わると自動 的に出力を開始します。

#### 補足

- ・原稿の読み込み中および原稿押さえ内に原稿が残っている 場合や、割り込みコピー、サンプルコピーの出力を行って いる場合、縮小で再コピーしている時には、ジョブ予約の 設定は行えません。
- 初期設定の「20最大ジョブ予約数」により予約できるジョ ブ数に制限があります。(P7-6参照)ただし、メモリー オーバーフローにより最大ジョブ予約数までジョプ予約で きない場合があります。
- ・60 枚を越える読み込み設定を行った場合、そのコピーの 処理中はジョブ予約機能はできません。

- 3 他に予約するジョブがあるときは手順2を繰り返し てください。
- 4 ジョブ予約キーを押してください。ジョブ予約表示が 消灯し、基本画面に戻ります。 予約されたコピージョブは現在のコピーの出力が終わ ると自動的に出力を開始します。

次の予約出力を開始します [ ショウ 25 ]

(1)ジョブの予約

 ジョブ予約キーを押してください。
 "予約コピーできます"とメッセージに表示され、ジョブ 予約表示が点灯します。



#### 補足

・コピーの1枚目出力中はジョブ予約ができない場合があり ます。コピーが1枚終わってから再度ジョブ予約キーを押 してください。

2 必要に応じてコピー方法を設定し、ジョブ予約を行う 原稿をセットしてください。 原稿の読み込みを開始します。 ジョブ予約が完了すると、ジョブ番号が表示されます。



### 6章 便利な機能

### (2)ジョブ予約の削除

ジョブ予約を削除するときには、以下の手順に従って行って ください。

1 ジョブ予約キーを押し続けてください(2秒以上)。 ジョブ予約の状態からはジョブの削除画面に入れません。ジョブ予約キーを押して、ジョブ予約表示を消灯させてから行ってください。





- **2** キーを押して削除するジョブ番号を選択してく ださい。
- 3 OKキーを押してください。 ジョブ予約削除の確認画面が表示されます。
  - キーを押して"はい"を選択してください。



**5** OKキーを押してください。ジョブ予約が削除されま す。 6 他のジョブを削除するときは手順2~6を行ってく ださい。 終了するときは"終了"が選択されていることを確認 してOKキーを押してください。



**7** ジョブ予約キーを押してください。ジョブ予約表示が 消灯し、コピー中であればコピー中の画面に戻ります。

4

# 5. プログラム機能

よく使う設定を登録して、コピー方法の設定を効率的に行え ます。10 種類のプログラムを登録できます。

### (1) プログラムの登録

1 登録するコピー方法を操作パネル上で設定してください。



2 初期設定キーを押してください。



**3** キーを押して"プログラム登録"を選択してくだ さい。



**4** OKキーを押してください。

5 手順1で設定したコピー方法を登録するプログラム 番号"プログラム1"~"プログラム10"を キー を押して選択してください。



- 6 OKキーを押してください。 あらかじめ登録されているコピー方法が表示されます。 ◀▶ キーを押すと、画面を切り替えて登録内容を確認できます。
- **7** OKキーを押してください。
- 8 上書き登録の確認画面が表示されます。 キーを押 して " する " を選択してください。

上書き登録: ゆする しない

**9** O Kキーを押してください。 基本画面に戻ります。 (2) プログラムを使ったコピー

1 プログラム呼出しキーを押してください。



2 選択するプログラム番号 "プログラム 1"~"プログラム 4"~ "プログラム 10"を キーを押して選択してください。



#### 補足

・登録内容を確認しないときはプログラム番号をテンキーで入力してください。("プログラム10"の場合はテンキーの"0"を押す)プログラムが呼び出され、基本画面に戻ります。

- 3 OKキーを押してください。 登録されているコピー方法が表示されます。登録内容 を確認する場合は次の手順に、しない場合は手順5 に進んでください。
- 4 <sup>▲▶</sup> キーを押して画面を切り替えて、登録内容を確 認してください。

5 OKキーを押してください。 プログラム呼び出しの確認画面が表示されます。 6 キーを押して"する"を選択してください。

呼び出し: ゆする しない

7 OKキーを押してください。 プログラムが呼び出され、基本画面に戻ります。 コピー方法を変更することもできます。

# 6.割り込みコピー

コピー中に割り込みキーを押すと、現在のコピーを中断して 別のコピー方法で割り込みコピーを行えます。



#### 補足

- ・割り込みコピーの終了後に割り込みキーを押すと、中断され たコピーをもとのコピー方法で再開できます。
- ・割り込みコピーは原稿の読み込み中以外で行うことができます。
- ・ソ ト / グループコピーで原稿を連続して読み込ませている
   時には、割り込みコピーはできません。
- ・60 枚を越える読み込み設定を行った場合、そのコピーの処 理中は割り込みコピーはできません。
- ・60枚を越える読み込みコピー終了後、割り込みコピーモー ドに入ると、割り込み前に読み込まれた原稿は消去されます。 したがって割り込み前の再コピーはできません。

1 出力中に割り込みキーを押してください。 割り込み表示が点灯します。出力中の用紙が排出された後にコピーを中断します。





- 2 必要に応じて各種設定を行ない、割り込ませる原稿を 原稿テーブルにセットしてください。 割り込みコピーを開始します。
- 3 コピー終了後、他に割り込みコピーを行うときはリ セットキーを押して手順2を行ってください。
- 4 割り込みコピーが終了したら、割り込みキーを押して ください。割り込み表示が消灯し、割り込み前のコ ピー方法の設定に戻ります。
- **5** スタートキーを押して割り込みコピー前のコピーを再開してください。

# 7. オートクリア機能

コピー終了後一定時間が経過すると、本機は自動的に初期状態に戻 ります。(ただしコピー濃度設定は戻りません。)オートクリア機能 がはたらく前なら、同じコピーモードやコピー枚数でコピーを繰り 返すことや、あるいは再コピー機能を使ってコピーを行えます。 オートクリアがはたらくまでの時間(オートクリアタイム)は初期 設定の「⑨ タイマー設定」で10秒から300秒の範囲で10秒間 隔で設定できます。(P7-2参照)

オートクリア機能を解除するときは、初期設定の「⑦ オートクリア」を "OFF" に設定してください。(P7-2 参照)



# 8. 節電機能

本機をしばらく使用しない場合、節電キーを押してください。節電 表示だけが点灯し、機械は休止状態になります。

節電機能を使うとメインスイッチをOFF(①)にしたときよりも ウォームアップ時間が短縮できます。また本機は一定時間コピー操 作を行わないと、オート節電タイムにより自動的に休止状態になり ます。オート節電タイムは工場出荷時には30分に設定されていま す。オート節電タイムは初期設定の「⑨ タイマー設定」で5~45 分(5分間隔)、60分、90分、120分、180分、240分から設 定できます。(P7-2参照)

コピーを再開するときは、もう一度節電キーを押してください。



# 9. オートシャットオフ機能

オートシャットオフ機能は、一定時間コピー操作がないと、自動的に電源をOFF(())にする節電機能です。

複写機は、一般にコピー作業中よりも待機状態が多く、待機時に消費 する電力が全体の大きな割合を占めています。複写機本体が自動的に 電源を OFF (○) にすることにより、待機中や夜間の電源の消し忘 れなどの不要な電力の消費を抑えることができ、電気料金の削減を 行うことができます。

オートシャットオフから復帰するときには、メインスイッチをON (|)にしてください。

オートシャットオフ機能が働くまでの時間(オートシャットオフタ イム)は工場出荷時には90分に設定されています。オートシャッ トオフタイムは初期設定の「⑨ タイマー設定」で5~45分(5分 間隔)、60分、90分、120分、180分、240分から設定できま す。(P7-2参照)

オートシャットオフ機能を解除するときは初期設定の「⑧ オートシャットオフ」を参照してください。(P7-2 参照)



7章 管理と設定

本機のメインスイッチをON(|)にした時や、リセットキーを押した時に選択される値(初期値)を変更することができます。 必要に応じて各設定を変更してください。

初期設定の項目は内容により本機の動作を設定する「マシン設定」と優先して選択されるコピー方法などを設定する「コピー設定」に分類されています。設定できる項目に制限がある「ユーザー」とすべての項目を設定できる「管理者」に分かれています。 「管理者」が初期設定を変更する場合には暗証番号の入力が必要になります。各設定内容については「初期設定一覧」を参照して ください。

# 1. 初期設定一覧

### (1)マシン設定

ユーザー / 管理者共通

設定項目	設定内容 設定値		初期値	参照 ページ
① 用紙幅設定	この設定を"幅入力(テンキー)"にすると、定形幅以外の用 紙幅を設定できます。各給紙段ごとに用紙幅をテンキーを 使って入力してください。 定形幅サイズ値以外を入力した場合、自動用紙選択機能は使 用できません。	給紙段ごとに 自動検知 / 幅入力 [210mm ~ 920mm]	自動検知	7-10
② 給紙段用紙種連動	この設定を " O N " にすると、各給紙段に用紙種の登録が可能 になります。登録した用紙種にあわせて、定着温度、等倍度、 ロールエンドの固定あり / なしが設定されます。	0 N / 0 F F	OFF	7-11
③ 用紙種設定	「② 給紙段用紙種連動」を"ON"にした時、手差しを含む各 給紙段の用紙種を登録できます。 "カスタム"を選択した場合には、「④ カスタム紙種設定」に あわせて、定着温度、等倍度などが設定されます。 ドラガー、ブルーレーン等の第2原図はカスタムモードで コピーしてください。	給紙段ごとに 普通紙 / 第 2 原図 / フィルム / カスタム	普通紙	7-11
④ ロールエンド設定	用紙種ごとに用紙の末端がロールの芯に固定されているかど うか設定できます。 "固定あり"を選択すると、用紙切れ時に 自動的に用紙カットを行います。	用紙種ごとに 固定あり / 固定なし	固定なし (フィルム: 固定あり)	7-11
⑤ 液晶コントラスト	- 操作部の液晶表示を調整します。 1 ~ 7		4	7-12
⑥ 原稿排出方向		手前 / 奥	奥	7-12

# 7章 管理と設定

### ●管理者のみ

設定項目	設定内容	設定値	初期値	参照 ページ
⑦ オートクリア	この設定を" O N " にすると、一定時間操作が行われない場合 にコピー方法などの設定が初期状態に戻ります。(ただしコ ピー濃度設定は元に戻りません。)	ON/OFF	ON	7-12
⑧ オートシャット オフ	この設定を "シャットオフモード" にすると、一定時間コピー 操作が行われない場合にメインスイッチが自動的に OFF (()) になります。 プリンタ / スキャナ コントローラ (オプション) 装着時に、 この設定を " スリープモード " にすることができ、ほとんどの 電力消費をカットします。	シャットオフモード/ スリープモード/ O FF	シャット オフモー ド	7-12
<ol> <li>タイマー設定</li> </ol>	オートクリア、オート節電、オートシャットオフの各機能が 有効になるまでの時間を設定できます。 複写機を頻繁に使用される場合は、オートシャットオフが働 くまでの時間を長めに、使用しない時間が多い場合は短めに 設定することをお薦めいたします。	オートクリアタイム 10秒~300秒の範 囲で10秒間隔 オート節電タイム 5~45分(5分間 隔)、60分、90分、 120分、180分、 240分 オートシャットオフ タイム 5~45分(5分間 隔)、60分、90分、 120分、180分、 240分	120秒 30分 90分	7-12
1 等倍度調整	各用紙種ごとに等倍度を調整できます。 ※画像メモリーにデータが残ってる場合、設定を変更すると、 そのデータは消去されます。	用紙種ごとに X (用紙幅方向): - 3.0%~+3.0% Y (用紙長さ方向): - 3.0%~+3.0%	X: ±0.0% Y: ±0.0%	7-13
1 定着温度調整	各用紙種ごとに定着温度を変更できます。厚い用紙を使用する 際には定着温度を高めに、薄い用紙を使用する際には低めに設 定してください。カスタムは「⑩ カスタム紙種設定」の用紙種 に応じた定着温度が選択できます。 ※ブルーレーン、ドラガーを使用するときはカスタムモードを 使用してください。	<ul> <li>普通紙</li> <li>145℃, 155℃,</li> <li>165℃</li> <li>第2原図</li> <li>165℃, 175℃,</li> <li>185℃</li> <li>フィルム</li> <li>150℃, 160℃,</li> <li>170℃</li> <li>カスタム:</li> <li>上記の各用紙種とその各定着温度</li> </ul>	155℃ 185℃ 150℃ 第2原図 165℃	7-14

# 7章 管理と設定

設定項目	設定内容	設定値	初期値	参照 ページ
(12) カスタム紙種設定	カスタム紙の用紙種と定着温度、等倍度を設定できます。等倍 度調整、定着温度調整のカスタムの設定と連動します。	<ul> <li>普通紙:</li> <li>145 , 155 ,</li> <li>165</li> <li>第2原図:</li> <li>165 , 175 ,</li> <li>185</li> <li>フィルム:</li> <li>150 , 160 ,</li> <li>170</li> <li>等倍度:X(用紙幅</li> <li>方向)</li> <li>- 3.0% ~ + 3.0%</li> <li>Y(用紙長さ方向)</li> <li>- 3.0% ~ + 3.0%</li> </ul>	第2原図 165 X: ±0.0% Y: ±0.0%	7-14
(3) 定形サイズ切替	使用する原稿や用紙のサイズが"A列"か"B列"かを選択して ください。これにより定寸カットの長さ、本機が自動検知する 用紙幅と原稿幅が変わります。	A 列 / B 列	A <i>5</i> J	7-14
⑭ オートロール チェンジ	同じサイズのロール紙をセットしている場合、使用中のロール 紙がなくなった時に給紙段を切り替えてコピーを継続します。 ただし、「② 給紙段用紙種連動」を"ON"にした場合、同じサ イズの用紙であっても用紙種が異なればオートロールチェンジ は機能しません。	O N / O F F	OFF	7-15
⑮ 暗証コード変更	管理者用初期設定のための暗証コードを変更します。 変更したときは、メモなどをとられることをお薦めします。	0000 ~ 9999	4850	7-15

## <u>7章 管理と設定</u>

### (2)コピー設定

#### ユーザー / 管理者共通

設定項目	設定内容	設定値	初期値	参照 ページ
① 自動回転コピー	原稿の幅に合わせた用紙が無い場合、原稿を回転させてコピー をするかどうか選択できます。	ON/OFF	OFF	7-15
② 倍率ステップ	コピー倍率の表示を1%刻みにするか0.1%刻みにするか設 定できます。1%刻みに設定すると、少数点以下のコピー倍 率を切り捨てて表示、コピーします。	1%/0.1%	1 %	7-15
③ 変倍登録	ユーザー番号1~5に倍率をユーザー設定変倍の選択項目と して登録できます。	同率変倍 25.0% ~ 400.0% 独立変倍 X(用紙幅方向): 25.0% ~ 400.0% Y(用紙長さ方向): 25.0% ~ 400.0%	同率変倍 100.0%	7-15
④ 定寸カット登録	定寸カットの選択項目としてユーザー 1 またはユーザー 2 に 任意の長さを登録できます。	ユーザー1、ユーザー 2 ともに 279mm ~ 6000mm	ユーザー 1 : 1000mm、 ユーザー 2 : 2000mm	7-16
⑤ 濃度ステップ	コピー濃度調整キー(◀)(▶)を押したときの全濃度ステッ プ("7 段階 " か "13 段階 " か)を選択できます。	7 段階 / 1 3 段階	7 段階	7-16
⑥ 自動 / 手動濃度 切替	優先して選択される原稿モードを設定できます。	自動、標準、標準こ い、標準うすい、 文字 / 線画、写真	標準	7-17
⑦ 濃度初期値	濃度表示の点灯位置を選択できます。自動濃度は濃度表示が 点灯しません。	1 ~ 7	4	7-17
⑧ 濃度調整	各原稿モード("自動濃度"、"標準原稿"、"文字/線画"、"写 真")の全体的なコピー濃度の濃淡を調整できます。	原稿モードごとに 1 ~ 7	4	7-17

#### 管理者のみ

設定項目	設定内容	設定値	初期値	参照 ページ
⑨ 基本給紙段	優先して使用する給紙段を選択できます。	給紙段 1(オプション ロールユニット装着 時のみ)/給紙段2/給 紙段 3/手差し	給紙段 2	7-17
⑩ 自動選択設定	優先して選択されるコピーモード ("自動用紙"、"自動倍率"、 "手動")を選択できます。	自動用紙 / 自動倍率 / 手動	手動	7-18
⑪ 自動倍率優先	自動用紙を選択して給紙段を指定した場合に、設定倍率に移 行する("OFF")か自動倍率に移行する("ON")かを設定で きます。	ON/OFF	OFF	7-18
⑫ コピー開始方法	"スタートキー"を選択すると、原稿挿入後スタートキーを押 すと原稿の読み込みを開始します。"オートスタート"を選択 すると、原稿を挿入すると自動的に原稿の読み込みを開始し ます。	オートスタート / スタートキー	オートス タート	7-18
1③ オートスタート 遅延時間	「⑪ コピー開始方法」を " オートスタート " に設定した場合 に、原稿を挿入してからコピーを開始するまでの時間を設定 できます。	0.5秒/1秒/2秒/ 3秒/4秒/5秒	0.5 秒	7-18
(4) 用紙カット方法	優先して選択される用紙カット方法(寸法)を選択できます。 "ユーザー1"、"ユーザー2"は、「④ 定寸カット登録」で登録 した長さになります。	<ul> <li>・A 列設定時</li> <li>シンクロカット /</li> <li>1189mm/</li> <li>841mm/</li> <li>594mm/</li> <li>420mm/</li> <li>297mm/</li> <li>ユーザー 1/</li> <li>ユーザー 2</li> <li>・B 列設定時</li> <li>シンクロカット /</li> <li>1030mm/</li> <li>728mm/</li> <li>515mm/</li> <li>364mm/</li> <li>ユーザー 1/</li> <li>ユーザー 2</li> </ul>	シンクロカット	7-18

設定項目	設定内容	設定値	初期値	参照 ページ
(15) シンクロカット 長さ表示	シンクロカット選択時に用紙のカット長さを表示するかどう かを選択できます。	ON/OFF	OFF	7-19
16 リセットキー画 像消去	"再コピー時確認"に設定すると、再コピー時にリセットキー を押すと画像消去の確認画面が表示されます。	消去 / 再コピー時確認	消去	7-19
1 再コピー許可	"禁止"に設定すると、再コピー機能は使用できなくなります。 "コード入力"に設定すると、再コピー時に再コピーコードの 入力が必要になります。	許可 / コード入力 / 禁止	許可	7-19
1® 再コピーコード 変更	「⑰ 再コピー許可」で " コード入力 " に設定した場合必要にな る、再コピーコードを変更できます。	0000 ~ 9999	4850	7-19
1 メモリー画像圧縮	メモリに読み込んだ画像データの圧縮率を設定できます。圧縮 率を高く設定すると、原稿の読み込み枚数が増えますが、 中間調(グレー部分)の画像が劣る場合があります。"低圧縮(高 画質)を選択した場合にはメモリの増設が必要になる場合があ ります。 画像メモリにデータが残ってる場合、設定を変更すると、そ のデータは消去されます。	低圧縮(高画質)/ 標 準 / 高圧縮	標準	7-20
20 最大ジョブ予約数	予約できるジョブの最大数を設定します。予約数に応じて予約 コピー時のソート / グループコピー原稿の読み込み枚数が制限	5ジョブ/10ジョブ/ 20ジョブ	5 ジョブ	

"5 ジョブ"の場合には最大20枚、"10ジョブ"の場合には最

大10枚、"20ジョブ"の場合には最大5枚になります。

7-20

### 7章 管理と設定

されます。

# 7章 管理と設定

設定項目	設定内容	設定値	初期値	参照 ページ
② 編集機能初期値	編集機能(上下画像移動、左右画像移動、先端余白、後端余 白、枠消し)の設定時に表示される値を変更できます。	・上下画像移動 上 200mm ~下 200mm	下 10mm	
		・左右画像移動 左 2 0 0 mm ~右 2 0 0 mm	右 10mm	
		・先端余白 - 200 ~ + 200mm	+ 50mm	7-20
		・後端余白 - 200 ~ + 200mm	+ 50mm	
		・枠消し 0~ 200mm	10mm	
22 サンプルコピー 設定	サンプルコピーを出力した場合のサンプルの種類を選択します。	機能サンプル / 濃度 サンプル	濃度サン プル	7-21
23 縮小コピー可能 原稿長	縮小コピーを行う際、使用される原稿の最長長さをここで設 定してください。ここで設定された以上の原稿が使われた場 合、原稿の長さや倍率によってメモリーオーバーや白紙コ ピーになることがあります。	2500mm ~ 6000mm	2500mm	7-21
<ul><li>④ 連続読み込み</li><li>設定</li></ul>	初期状態(リセットキーを押した後の状態)で、ソートモー ドまたはグループモードにすることができます。	OFF/ ソート ON/ グループ ON	OFF	7-21

# 2. 初期設定の設定方法

- (1)ユーザーの設定方法
  - 1 初期設定キーを押してください。



**2** キーを押して "初期設定 / ユーザー "を選択して ください。



- **3** OKキーを押してください。
- 4 マシン設定かコピー設定を選択してください。 >マシン設定を行う場合は、 キーを押して"マシン設定"を選択してください。

初期設定/ユーザー:
・終了・・
◆マシン設定 ▶
- コピー設定 ▶

> コピー設定を行う場合は、 キーを押して" コ ピー設定"を選択してください。



- 5 0 Kキーを押してください。
  - キーを押して設定項目を選択してOKキーを押
- 6 してください。各参照を確認し項目の設定を行ってく ださい。
  - >マシン設定で選択できる項目
    - 用紙幅設定 ... P7-10 参照
    - ② 給紙段用紙種連動 ... P7-11 参照
    - ③ 用紙種設定 ... P7-11 参照
    - ④ ロールエンド設定 ... P7-11 参照
    - ⑤ 液晶コントラスト ... P7-12 参照
    - ⑥ 原稿排出方向 ... P7-12 参照
  - >コピー設定で選択できる項目
    - ① 自動回転コピー…P7-15 参照
    - ② 倍率ステップ ... P7-15 参照
    - ③ 変倍登録 ... P7-15 参照
    - ④ 定寸カット登録 ... P7-16 参照
    - ⑤ 濃度ステップ…P7-16 参照
    - ⑥ 自動 / 手動濃度切替 ... P7-17 参照
    - ⑦ 濃度初期值 ... P7-17 参照
    - ⑧ 濃度調整 ... P7-17 参照
- 7 他の設定項目を設定するときは手順6に戻ってください。終了するときは キーを押して"初期設定/ ユーザーへ戻る"を選択しOKキーを押してください。 キーを押し、"終了"を選択してください。

キーを押して"マシ

#### (2)管理者の設定方法

1 初期設定キーを押してください。



**2** ださい。 キーを押して"初期設定/管理者"を選択してく



初期設定/管理者: ・・終了・・ ◆マシン設定 ▶ コピー設定 ▶

マシン設定かコピー設定を選択してください。

5 >マシン設定を行う場合は、

ン設定"を選択してください。

> コピー設定を行う場合は、 キーを押して"コ ピー設定"を選択してください。

初期設定/管理者: ・・終了・・ マシン設定 ▶ ,�コピー設定 ▶

**6** OKキーを押してください。

### 3 OKキーを押してください。

4

テンキーで4桁の暗証コードを入力してください。 工場出荷時の設定は"4850"です。変更すること もできます。(P7-3、「15 暗証コード変更」参照)

キーを押して設定項目を選択してOKキーを押し 7 てください。各参照を確認し項目の設定を行ってくだ さい。 >マシン設定で選択できる項目 ① 用紙幅設定 ... P7-10 参照 ② 給紙段用紙種連動 ... P7-11 参照 ③ 用紙種設定 ... P7-11 参照 ④ ロールエンド設定 …P7-11 参照 ⑤ 液晶コントラスト ... P7-12 参照 ⑥ 原稿排出方向 ... P7-12 参照 ⑦ オートクリア…P7-12参照 (8) オートシャットオフ…P7-12 参照 ⑨ タイマー設定…P7-12参照 10 等倍度調整 ... P7-13 参照 ① 定着温度調整 ... P7-14 参照 カスタム紙種設定…P7-14 参照 定形サイズ切替…P7-14参照 (4) オートロールチェンジ…P7-15 参照 (15) 暗証コード変更…P7-15 参照 > コピー設定で選択できる項目 自動回転コピー…P7-15参照 ② 倍率ステップ ... P7-15 参照 ③ 変倍登録 ... P7-15 参照 ④ 定寸カット登録…P7-16 参照 ⑤ 濃度ステップ…P7-16 参照 ⑥ 自動 / 手動濃度切替 ... P7-17 参照 ⑦ 濃度初期値 ... P7-17 参照 ⑧ 濃度調整 ... P7-17 参照 ④基本給紙段…P7-17参照 10 自動選択設定 ... P7-18 参照 (1) 自動倍率優先 ... P7-18 参照 コピー開始方法…P7-18 参照 (13) オートスタート遅延時間…P7-18 参照 ① 用紙カット方法…P7-18 参照 (15) シンクロカット長さ表示 ... P7-19 参照 (16) リセットキー画像消去 ... P7-19 参照 (17) 再コピー許可…P7-19 参照 (18) 再コピーコード変更…P7-19 参照 メモリー画像圧縮…P7-20参照 ② 最大ジョブ予約数…P7-20参照 ②1 編集機能初期值 ... P7-20 参照 (22) サンプルコピー設定…P7-21 参照 (23) 縮小コピー可能原稿長…P7-21 参照 ④ 連続読み込み設定…P7-21 参照

8 他の設定項目を設定するときは手順6に戻ってください。終了するときは キーを押して"初期設定/管理者へ戻る"を選択しOKキーを押してください。 キーを押し、終了キーを選択してください。

- (3)各項目の設定
- マシン設定 
   1 用紙幅設定



キーを押して給紙段を選択してください。

用紙幅設定:	
・マシン設定	へ戻るい
➡ ◇給紙段 1 :	自動検知
→ 給紙段 2	自動検知

- **2** OKキーを押してください。
- 3 自動検知させるときは キーを押して"自動検知" を、用紙幅を入力するときは"幅入力(テンキー)" を選択してください。

**給紙段 1:** 210m~920m �>自動検知 210m 幅入力(テンキー)

"幅入力 (テンキー)"を選択したときはテンキー で用紙幅210 mm~920mmを入力してくださ い。

**4** O K キーを押してください。

- 5 キーを押して "マシン設定へ戻る "を選択して ください。
  - **6** OKキーを押してください。マシン設定の設定画面に 戻ります。

#### 2 給紙段用紙種連動

1 各給紙段に用紙種の登録が可能にするときは、 キーを押して"ON"を選択してください。

給紙段用紙種運動: ON >0FF

**2** OKキーを押してください。マシン設定の設定画面に 戻ります。

- 4 0 Kキーを押してください。
- **5** キーを押して "マシン設定へ戻る "を選択してく ださい。
- **6** OKキーを押してください。マシン設定の設定画面に 戻ります。

④ ロールエンド設定

1

キーを押して用紙種を選択してください。

③ 用紙種設定

補足

② 給紙段用紙種連動が OFF を選択している場合はこの設定 はできません。

1 キーを押して給紙段を選択してください。



- **2** OKキーを押してください。
- 3 キーを押して用紙種を選択してください。



ロールエンド設定:		
- ・・マシン設	定へ戻る・・	
◇普通紙	:固定あり	
■ 第2原図	:固定あり	

- **2** OKキーを押してください。
- 3 用紙の末端がロールの芯に固定されているかどうか キーを押して"固定あり"または"固定なし"を選 択してください。

普通紙:	
>固定あり	
◆ 固定なし	

- 4 0 K キーを押してください。
- **5** キーを押して "マシン設定へ戻る "を選択してく ださい。
- **6** OKキーを押してください。マシン設定の設定画面 に戻ります。

### 7章 管理と設定

#### ⑤ 液晶コントラスト

1 キーを押して液晶の明るさを設定してください。 数字が大きくなると明るく、小さくなると暗くなります。



**2** OKキーを押してください。マシン設定の設定画面に 戻ります。 ⑧ オートシャットオフ

1 キーを押してオートシャットオフのモードを選択 してください。 プリンタ / スキャナコントローラ (オプション)が 設置されてないときは " スリープモード " は表示 されません。



**2** OKキーを押してください。マシン設定の設定画面に 戻ります。

⑥ 原稿排出方向



原稿排出方向: >奥に排出 手前に排出

**2** OKキーを押してください。マシン設定の設定画面に 戻ります。

⑦ オートクリア

1 オートクリア機能を使用するときは キーを押して " ON "を選択してください。



⑨ タイマ−設定



- ・「⑦ オートクリア」の設定で "OFF"になっているときは オートクリアの時間は設定できません。
- ・「⑧ オートシャットオフ」で"OFF"になっているときは オートシャットオフの時間は設定できません。
- ・オート節電タイムを設定するときはオートシャットオフの 設定時間を越えないように設定してください。





OKキーを押してください。 2

**2** OKキーを押してください。マシン設定の設定画面に 戻ります。
- 3 ▼▲キーを押して各機能が働くまでの時間を設定してください。
  - > "オートクリアタイム"を選択したときは、10秒~ 300秒の間で選択してください。

オートクリアタイム:	
⇒ 10秒	
~20秒	
, 30秒	

> "オート節電タイム"を選択したときは、5~45分 (5分間隔)、60分、90分、120分、180分、240分 から選択してください。

オート師電タイム:	
▲ 10分	
>15分	
.⇒ 20分	

> "オートシャットオフ"を選択したときは、5~45 分(5分間隔)、60分、90分、120分、180分、24 0分から選択してください。

オートシャットオフタイム:	
▲ 15分	
> 20分	
, 25分	

- 4 0 Kキーを押してください。
- 5 ▼▲キーを押して"マシン設定へ戻る"を選択してく ださい。
- **6** OKキーを押してください。マシン設定の設定画面に戻ります。

#### 🕦 等倍度調整



**2** OKキーを押してください。

3 用紙長さ方向(X)の等倍度を <▶ キーを押して選択してください。</li>
 - 3.0%~+ 3.0%の間で設定できます。

**4** ▼▲キーを押してください。

5 用紙幅方向(Y)の等倍度を▼▲キーを押して選択し てください。 - 3.0%~+3.0%の間で設定できます。

OKキーを押してください。 6

- **7** ▼▲キーを押して"マシン設定へ戻る"を選択して ください。
- **8** OKキーを押してください。マシン設定の設定画面に 戻ります。

### 7章 管理と設定

- ① 定着温度調整
- 1 <sup>+-6</sup>

キーを押して用紙種を選択してください。

定着温度調整	:
・・マシン語	定へ戻る…
│�普通紙	: 155°c
→ 第2原図	: 185°c

- **2** OKキーを押してください。
- **3** キーを押して各用紙の定着温度を選択してください。
  - > " 普通紙 "を選択したときは145 、155 、165 から選択してください。

普通紙: 145℃ >155℃ 今 165℃

- > " 第2原図 "を選択したときは165 、175 、18 5 から選択してください。
- \* フィルム "を選択したときは150、160、170 から選択してください。
- > "カスタム"を選択したときはカスタム用に設定さ れた用紙種の温度を表示します。
- 4 0 Kキーを押してください。
- **5** キーを押して "マシン設定へ戻る "を選択して ください。
- **6** OKキーを押してください。マシン設定の設定画面に 戻ります。

12 カスタム紙種設定

1 キーを押して用紙種を選択してください。

i.	
	カスタム紙種設定:
	∖ <del>ሰ</del> ቱ ^≖ ቀጠ
	ノ首連航
	9 第2度図
	ライルム しょうしん

- **2** OKキーを押してください。
- **3** それぞれの用紙種に応じた定着温度の中から キー を押して定着温度を選択してください。



- 4 0 Kキーを押してください。
- 5 ◆ キーを押して等倍度を設定してください。 設定のしかたは P 7-2、「⑪ 等倍度調整」を参照して ください。
- 6 OKキーを押してください。マシン設定の設定画面に 戻ります。
- (1) 定形サイズ切替
- 1 キーを押して定型サイズの種類を選択してください。
  "A列"か"B列"を選択してください。

定形サイズ切替: ◇A列 � B列

**2** OKキーを押してください。マシン設定の設定画面に 戻ります。

- 🔞 オートロールチェンジ
- オートロールチェンジを行うときは キーを押し て"ON"を選択してください。

オートロールチェンジ: �ON >OFF

**2** OKキーを押してください。マシン設定の設定画面に 戻ります。

(15) 暗証コード変更

▲ テンキーで4桁の暗証コードを入力してください。



**2** OKキーを押してください。マシン設定の設定画面に 戻ります。 ② 倍率ステップ

**1** してください。 + ーを押して倍率ステップ1%か0.1%を選択



**2** OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に 戻ります。

#### 3 変倍登録

- 1
- キーを押してユーザー番号を選択してください。



**2** OKキーを押してください。

コピー設定で選択できる項目

①自動回転コピー

1 自動回転コピーを行うときは、 キーを押して"ON"を選択してください。

自動回転コピー: 今>ON OFF **3** キーを押して " 同率変倍 " か " 独立変倍 " を選択 してください。

□-ザ-1: 25.0%~400.0%	,
■ ♪> 同変変倍	1
独立変倍	

- 4 OKキーを押してください。
   "同率変倍"を選択したときは次の手順に"独立変倍"
   を選択したときは手順6に進んでください。
- **2** OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に 戻ります。

### 7章 管理と設定

5 ★▶ キーまたはテンキーで倍率を選択してください。 設定できる倍率は25.0%~400.0%です。手順9 に進んでください。



6 ▲ キーまたはテンキーで用紙長さ方向(X)の倍率を選択してください。設定できる倍率は25.0%~400.0%です。



キーを押してください。

7

- 8 キーまたはテンキーで用紙幅方向(Y)の倍率を 選択してください。設定できる倍率は25.0%~ 400.0%です。
- **9** OKキーを押してください。
- **10** キーを押して " コピー設定へ戻る " を選択してく ださい。
- **11** OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に 戻ります。

④ 定寸カット登録

テンキーでカット長さを入力してください。
 279mm ~ 6000mmの間で選択してください。

ם**-ザ-1: 279≋~6000**ଛ 入力・・・テンキー 決定…師キー 1000

- **4** OKキーを押してください。
- **5** キーを押して " コピー設定へ戻る " を選択してく ださい。
- 6 OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に 戻ります。

⑤ 濃度ステップ

1 キーを押して濃度ステップを選択してください。

濃度ステップ: >7段階 � 13段階

**2** OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に 戻ります。

- ⑥ 自動 / 手動濃度切替
- 1 キーを押してコピー濃度選択モードを選択してく ださい。

自動	1/手動濃度切替:	
	自動	
	>標準	
<b>₽</b> ,	標準こい	

**2** OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に 戻ります。 **3** キーを押してコピー濃度を選択してください。 数字が大きくなるにしたがって濃くなります。

自動	」濃度:	
•	■ 5	
	₿6	
♦	<b>■</b> 7	

4 0 Kキーを押してください。

- 5 キーを押して " コピー設定へ戻る " を選択して ください。
- **6** OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に 戻ります。

⑦ 濃度初期値

1 キーを押して濃度表示の点灯位置を選択してくだ さい。

濃度初期値:	
<b>*</b> 5	
6	
<b>\$</b> 7	

**2** O K キーを押してください。コピー設定の設定画面に 戻ります。 9 基本給紙段

1 +

キーを押して給紙段を選択してください。

县本給紙段:	
Construction of the second	
$\mathbf{A} \setminus \mathbf{A} \mathbf{A} \mathbf{A} \mathbf{n} \in \mathbf{n}$	ר ר
5276666552	C
17 Avr cm	Ā
	3
1994 AVE 9 1984	v
三 王 王 〔	
「一丁左レ	

**2** OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に 戻ります。

⑧ 濃度調整

キーを押して原稿モードを選択してください。





① 自動選択設定

1

キーを押してコピーモードを選択してください。



OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に 2 戻ります。

(3) オートスタート遅延時間

#### 補足

- ・「 12 コピー開始方法」で"スタートキー"を選択している 場合はこの設定はできません。
- キーを押してオートスタートの遅延時間を選択 1 してください。 0.5 秒から 5 秒の間で設定できます。

オートス	Ø─▶ <b>遅延時間</b> :
	0.5秒
\$	1秒
Ŧ	2秒

① 自動倍率優先

- 自動倍率を優先させるときは キーを押して"0 **1** N "を選択してください。
  - "OFF"を選択すると設定された倍率を優先します。

自動倍率優先: ON

> 0 F F

OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に **2** <sub>戻ります。</sub>

(1) 用紙カット方法

#### 補足

- ・表示される寸法はマシン初期設定の「13 定形サイズ切替」 の設定によって異なります。
- OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に 2 戻ります。
- キーを押してカット寸法を選択してください。 1

用紙カット方法:	
> シンクロカット	
1189 <sup>®</sup>	
<b>₊\$</b> 841≋	

(12) コピー開始方法

1

キーを押してコピー開始方法を選択してください。

コピー開始方法: >オートスタート → スタートキー

OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に 2 戻ります。

OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に **2** <sub>戻ります。</sub>

#### 19 シンクロカット長さ表示

1 シンクロカット長さを表示させるときは、キーを 押して"ON"を選択してください。

> シンクロカット長さ表示: ON �>OFF

**2** OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に 戻ります。 🗊 再コピー許可

**1** キーを押して " 許可 "、" コード入力 " または " 禁 止 " を選択してください。



**2** OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に 戻ります。

- (1) リセットキー画像消去
- 1 画像を消去するときは キーを押して"消去"を、 確認画面を表示させるときは"再コピー時確認"を選 択してください。

(1) 再コピーコード変更

補足

・「⑦ 再コピー許可」で"許可"または"禁止"を選択した ときはこの設定はできません。



**2** OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に 戻ります。 **1** テンキーで再コピーコード(4桁)を入力してください。



**2** OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に 戻ります。

- (19) メモリー画像圧縮
- キーを押してメモリーの画像圧縮率を選択してく **1** ださい。

バリー画像圧縮: 低圧縮(高画質) >標準 ⇔ 高开縮

OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に **2** <sub>戻ります。</sub>

- OKキーを押してください。
- **2** ・"上下画像移動"を選択したときは次の手順に進ん でください。
  - ・" 左右画像移動 "を選択したときは手順 4 に進んで ください。
  - ・"先端余白"を選択したときは手順5に進んでくだ さい。
  - ・"後端余白"を選択したときは手順6に進んでくだ さい。
  - ・" 枠消し "を選択したときは手順7に進んでくださ 610

キーで画像移動方向を選択し、テンキーで移動 幅を入力してください。 移動幅は上200mm~下200mmの間で設定して ください。

手順8に進んでください。

3



(20) 最大ジョブ予約数



キーを押して最大ジョブ数を選択してください。

最大ジョブ予約数:	
> 5ジョブ	
10ジョブ	
→ 20½ ∃7	

OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に **2** <sub>戻ります。</sub>

キーを押して編集機能を選択してください。

▲▶ キーで画像移動方向を選択し、テンキーで移動 4 幅を入力してください。 移動幅は上200mm~下200mmの間で設定して ください。 手順8に進んでください。



キーで"+""-"を選択し、テンキーで余白を入 5 力してください。 余白は - 200mm ~ + 200mmの間で設定してくだ さい。 手順8に進んでください。



④ 編集機能初期値



7-20

 キーで"+""-"を選択し、テンキーで余白を 入力してください。
 余白は - 200mm ~ + 200mmの間で設定してく ださい。
 手順8に進んでください。



テンキーで枠消し幅を入力してください。
 0mm ~ + 200mmの間で設定してください。
 手順8に進んでください。

枠消し: 1≋~200≋ 入力・・・テンキー 決定・・・®キー	B4# •
---------------------------------------	-------

- 29 サンプルコピー設定
  - **1** キーを押してサンプルコピーの種類を選択してく ださい。

サンブルコビー設定: >濃度サンプル → 機能サンプル

**2** OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に 戻ります。

23 縮小コピー可能原稿長





**2** OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に 戻ります。

### 2 連続読み込み設定

または キーを押してモードを選択してください。
 "OFF"を選択すると、初期状態でソート、グループが OFF になります。

**2** OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に 戻ります。

8 0 K キーを押してください。

- 9 キーを押して " コピー設定へ戻る "を選択してく ださい。
- **10** OKキーを押してください。コピー設定の設定画面に 戻ります。

## 7章 管理と設定

# 3.言語の切替

本機のメッセージ表示は日本語、アメリカ向け英語、英語、 フランス語、スペイン語、ドイツ語、イタリア語で表示できま す。

メッセージ表示の言語を切り替えるときは以下の方法で行って ください。

1 初期設定キーを押してください。



2

キーを押して"言語設定"を選択してください。



**3** OKキーを押してください。

キーを押して使用する言語を選択してください。



4

5 OKキーを押してください。リセットキーを押してく ださい。

8章 こんなときには

# 1.コピー中の表示について

操作部のメッセージ表示に以下のようなメッセージが出たときは処理方法にしたがって作業してください。

表示	処理方法	参照ページ
"前カバーを閉じて下さい "	前カバーが開いています。確実に閉めてください。	
" 排出カバーを閉じて下さい "	排出カバーが開いています。確実に閉めてください。	
"原稿テーブルを押して 本体を閉じて下さい"	機械本体が開いています。両手で本体解除レバーを持ち、原稿テーブルを押して機械を閉じてください。	
"トナー補給口を閉じて下さい"	トナー補給口が開いています。確実に閉めてください。	
" 右カバーを閉じて下さい "	右カバーが開いています。確実に閉めてください。	
"原稿押さえを閉じて下さい" "原稿先端カバーを閉じてください"	原稿押さえや原稿先端カバーが開いています。確実に閉 めてください。	
" 紙詰まりです "	用紙が詰まっています。メッセージ表示に応じて適切に 取り除いてください。	8-9
"原稿を再度挿入して下さい"	原稿が詰まっています。原稿を取り除き、再度原稿テー ブルにセットしなおしてください。	8-13
" 原稿を取り除いて下さい "	原稿読み込み終了後に、原稿が詰まっています。原稿を 取り除いてください。	8-13
" 用紙を補給して下さい "	ロールユニットの用紙がなくなりました。新しいロール 紙と交換してください。	3-6
" 用紙を巻き取って下さい "	ロールユニットの用紙がなくなりました。前カバーを開 けロール紙を巻き取ってから新しいロール紙と交換して ください。	3-6

表示	処理方法	参照ページ
" ロールユニットが入っていません "	ロールユニットが確実に挿入されていません。前カバー を開いて、ロールユニットを確実に押し込んでください。	3-6
" 用紙をセットして下さい給紙段 × mm "	割り込みコピー、ジョブ予約時などにセットされた時と 異なる幅の用紙がセットされています。 ロール紙を交換 してください。	3-6
"回収タンクを確認して下さい"	トナー回収タンクが一杯になっています。またはトナー 回収タンクが正しくセットされていません。新しいト ナー回収タンクと交換してください。またはトナー回収 タンクをセットし直してください。	8-5
" トナーを補給して下さい "	" コピーできます "と合わせてこのメッセージが表示され ているときはコピーはできますが連続してコピーができ なくなります。早めにトナーを補給してください。しば らくはコピーできますが、このメッセージだけが表示さ れたときにはコピーができなくなります。	8-3
" メンテナンスの時期です "	機械の保守時期になっています。弊社製品取り扱い店等 にご連絡ください。	
"サービス担当者に連絡して下さい"	本体内部に異常があります。「5.サービスコールが表示 されたら」を参照してください。	8-8
" メモリーがいっぱいです "	メモリーオーバーフローが起きました。「4.メモリー オーバーフロー時の処置」を参照してください。	8-6
" メモリーできませんでした "	メモリーに原稿画像を保存できませんでした。2枚目以 降のコピーまたは再コピーを行えません。「4.メモリー オーバーフロー時の処置」を参照してください。	8-6
"設定範囲外です 再入力して下さい"	コピー倍率や編集機能の設定値などが設定範囲を超えて います。OKキーを押して、設定値を入力し直してくだ さい。	
" 現在この項目は設定できません "	現在設定できない機能や初期設定値を変更しようとして います。「初期設定一覧」を参照してください。	7-1
" 暗証コードが違います "	暗証コードが違います。もう一度テンキーを使って入力 しなおしてください。	7-3
" 再コピーコードが違います "	————————————————————— 再コピーコードが違います。もう一度テンキーを使って 入力しなおしてください。	7-6

# <u>8章 こんなときには</u>

## 8章 こんなときには

表示	処理方法	参照ページ
" キーカウンタをセットして下さい "	キーカウンタ < オプション > がセットされていないか、 もしくは正しくセットされていません。正しくセットし てください。	4-1
" キーカードをセットして下さい "	キーカード < オプション > がセットされていないか、も しくは正しくセットされていません。 正しくセットして ください。	4-1
" 再コピーでの鏡像の変更はできません "	再コピーで鏡像機能の変更はできません。変更した場 合は再度コピーをやり直してください。	6-4
" 回転に必要なメモリーが足りません "	メモリーオーバーフローが起きました。画像回転機能 および自動回転機能はメモリーを多く消費します。原 稿の挿入方向を変えてコピーし直してください。	
" 拡大制限範囲外です 再コピーできません "	再コピーでの拡大制限範囲を超えました。作業を続け るときは再度コピーをやり直してください。	6-4
" 縮小するためのメモリーが足りません "	メモリーオーバーフローが起きました。再コピーで縮 小コピーを行う場合、メモリーを多く消費することが あります。作業を続けるときは再度コピーをやり直し てください。	
" この用紙サイズには再コピーできません "	以下のいずれかの理由で再コピーができません。 ・拡大制限範囲を超えるページがある。 ・縮小によるメモリーオーバーフローが発生する。 ・自動回転できないページがある。 作業を続けるときは再度コピーをやり直してください。	6-4
" 縮小再コピー中は予約できません "	再コピーで縮小コピーが行われている間、ジョブ予約 機能が使用できない場合があります。現在のコピー ジョブが終了するまでお待ちください。	6-4
"原稿と用紙の向きが違います"	自動回転機能を行うことができません。原稿の挿入方 向を変えてセットし直してください。	

## 2. トナー補給のしかた

トナーが不足すると"トナーを補給して下さい"とメッセージが表示されます。"コピーできます"が表示されている間は連続コピー はできなくなります。しばらくコピーはできますが、"トナーを補給して下さい"だけが表示されるとコピーできなくなります。早め にトナーを補給してください。

黒比率の高い原稿を連続コピーすると、一度に大量のトナーを消費するため、機内にまだトナーが残っていても"トナーを補給して 下さい"が表示される場合があります。この場合は一度トナー補給口を開閉してください。本機はトナー補給動作を行ないます。





トナーボトルおよびトナー回収タンクは、火中に投じな いでください。火花が飛び散り、やけどの原因となるこ とがあります。



トナーボトルおよびトナー回収タンクは、無理に開けた り、壊したりしないでください。

1 あらかじめ原稿反転ガイドを外してから、両側のト ナー補給口つまみを回しマーキング位置に合わせてト ナー補給口を開いてください。



**2** 補給用トナーボトルを逆さに持ち、ボトルの底を10回 たたいてください。



**3** 補給用トナーボトルを上下に10回振り、水平に持ち左 右に10回振ってトナーを混ぜてください。



**4** 図のようにトナーボトルの を開口部のピン①(金属の突起)にあわせて差し込んでください。



5 トナーボトルを下の方へ押しながら、時計方向に90度 回してください。トナーが補給されます。



- 6 トナーボトルの側面を7~8回軽くたたき、残ってい るトナーを落として下さい。
- 7 トナーボトルを下の方へ押しながら元の位置まで回し、 ゆっくりと外してください。





トナーボトルおよびトナー回収タンクは、火中に投じな いでください。火花が飛び散り、やけどの原因となるこ とがあります。



トナーボトルおよびトナー回収タンクは、無理に開けた り、壊したりしないでください。 8 トナー補給口を閉めて、トナー補給口つまみをイラス トの位置まで回し、固定してください。その後で原稿 反転ガイドを取り付けてください。



使用後、不要となりましたトナーボトルおよびトナー回 収タンクは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービ ス担当者にご返却ください。回収されたトナーボトルお よびトナー回収タンクは、再利用もしくは再資源化のた めに再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。 右カバーを開けて、トナー回収タンクを手前に引いて 取り出してください。



**2** トナー回収タンクの開口部に付いているシールでタン クの口を閉めてください。



## 3.トナー回収タンクの交換のしかた

トナー回収タンクがいっぱいになると"回収タンクを確認して 下さい"とメッセージが表示され、コピーできなくなります。 新しい回収タンクと交換してください。

回収タンクを確認して下さい



トナーボトルおよびトナー回収タンクは、火中に投じな いでください。火花が飛び散り、やけどの原因となるこ とがあります。



トナーボトルおよびトナー回収タンクは、無理に開けたり、壊 したりしないでください。 ▲ 注意

トナーボトルおよびトナー回収タンクは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、やけどの原因となることがあります。



トナーボトルおよびトナー回収タンクは、無理に開けたり、壊したりしないでください。





右カバーを閉めてください。 トナー回収タンク内のトナーは、再使用できません。

使用後、不要となりましたトナーボトルおよびトナー回 収タンクは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービ ス担当者にご返却ください。回収されたトナーボトルお よびトナー回収タンクは、再利用もしくは再資源化のた めに再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

## 4. メモリーオーバーフロー時の処置

本機はメモリーに画像データを読み込み、コピーを行います。 メモリーには限りがあり、コピー操作中にメモリーオーバーフ ローをおこし、以下に示すメッセージが表示されることがあり ます。

初期設定の「19 メモリー画像圧縮」設定を"低圧縮(高画質)" の場合には"標準"に、"標準"の場合には"高圧縮"にする と、メモリーに保存できる画像データを増やすことができま す。ただし圧縮率を高くすると、中間調(グレー部分)の画像 が劣る場合があります。(P7-6参照)

メモリーオーバーフローが頻繁に発生するときにはメモリー の増設をおすすめします。弊社製品取り扱い店等にお問い合 わせください。 "メモリーがいっぱいです"表示はソート/グループコピー、編 集機能、ジョブ予約、割り込みコピー時など原稿を先に読み込 んでからコピーする場合に表示されることがあります。 ジョブ予約、割り込みコピー時にメモリーオーバーフローが起 こった場合には現在の出力が終わってから、再度コピーを行っ てください。ソート/グループコピー時にメモリーオーバーフ ローが起こった場合には原稿枚数を減らしてください。

縮小コピーするとき、使用される原稿の長さが初期設定の 「② 縮小コピー可能原稿長」で設定されている長さより大 きいときはこのメッセージが出ることがあります。そのと きには使用される原稿よりも設定値を大きくしてくださ い。(P7-7参照)



"メモリーできませんでした"表示は通常のコピー時など、原 稿を読み込みながらコピーする場合に表示されることがありま す。画像データ全体をメモリーに保存できませんでした。 コピー部数を複数枚設定している場合には、1部は出力できま すが、2部以降は出力されません。また再コピーは行えません。



**1** OKキーを押してください。原稿排出方向の選択画面 が表示されます。



原稿排出方向:	
♦手前に排出	
奥に排出	

**3** OKキーを押してください。原稿が排出されます。

1 枚目の原稿でオーバーフローした場合には、読み込 み中の画像を消去します。

ソート/グループコピー時などに、すでに読み込みを終 了している原稿がある場合には次の手順に進んでくだ さい。

**4** 読み込んだところまで出力するか確認する画面が表示 されます。

キーを押して、"はい"または"いいえ"を選択してください。

"いいえ"を選択した場合には出力を中止します。



6 出力部数を確認または修正する画面が表示されます。 出力部数を確認し、スタートキーを押して下さい。 修正する場合にはテンキーで部数を入力し、スタート キーを押してください。読み込み中にオーバーフロー した原稿は、破棄され、正常に読み込まれたところま での画像を出力します。

部数を確認/修正して下さい	01 4540
	「日日」

5 OKキーを押してください。 "はい"を選択した場合には次の手順に進んでください。

### 8章 こんなときには

## 5. サービスコールが表示されたら

下記のようなサービスコールのメッセージが表示されたとき は、本機が異常を検知しました。 ご使用を中止し、次の処置を行ってください。



1 本体解除レバーを引き機械本体を開いて、閉めなおし てください。



- 2 再度サービスコールのメッセージが表示された場合は、 メッセージに表示されているエラーコード(左記のメッ セージの場合はC××××)を書きとめてください。
- 3 メインスイッチをOFF(①)にし、電源プラグを抜いてください。
- 4 メッセージに表示された電話番号または弊社製品取り 扱い店等にご連絡ください。そのとき、書きとめたエ ラーコードをお知らせください。

## 6. 紙詰まりが発生したとき

紙詰まりが発生した場合は、本機の駆動が停止し、紙詰まりのメッセージが表示されます。メインスイッチはON( | )のまま、メッ セージ表示の種類に応じて詰まっている用紙を取り除いてください。

### (1)紙詰まりの位置表示



機械本体内部での紙詰まり 手差し給紙口での紙詰まり(P8-11参照) 給紙部での紙詰まり(P8-11参照) 原稿押さえで紙詰まり(P8-13参照)

#### (3)処理のしかた

"紙詰まりです 用紙カットキーを押して下さい"、"紙詰ま りです 原稿テーブルを引き出して下さい"が表示されたとき 機械内部で用紙が詰まっています。以下の手順で用紙を取り除 いてください。





(2)処理上の注意事項



本製品本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれがあ りますので取り扱いにご注意ください。



本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがあり ますので取り扱いにご注意ください。

- ・詰まった用紙は再使用しないでください。
- ・用紙を取り除くときに用紙が破れた場合、紙片を機内に残さ ないように注意してください。紙詰まりが再発する原因にな ります。
- ・紙詰まりの処理が終了すると、ウォームアップが開始され、 紙詰まりのメッセージが消え紙詰まり前の状態にセットしな おされます。

**1** "用紙カットキーを押して下さい"と表示されているときには、用紙カットキーを押してください。

### 重要

・用紙カットキーを押す前にカバー類は開けないでください。



3

本体解除レバーを持って手前に引いてください。 機械本体が開きます。





本製品本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれがあ りますので取り扱いにご注意ください。



本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがあり ますので取り扱いにご注意ください。

用紙が見えているときは用紙を取り出してください。

引き出しにくいときは、無理に引き出さず、次の手順に進んでください。



搬送ノブを反時計回りに回してください。用紙が搬送 されます。



5 用紙が見えたら、機械内部の用紙を取り出してください。





排出解除レバーを押し、手前に引いてください。排出 カバーが開きます。





本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがあり ますので取り扱いにご注意ください。





## 重要

・排出カバーを開く場合は必ず原稿テーブルを引き出してから 行ってください。



9 本体解除レバーを持って、原稿テーブルを機械奥側に 押し、機械本体を確実に閉じてください。

"紙詰まりです 用紙を取り除いて下さい"が表示されたとき 手差し給紙口で用紙が詰まっています。以下の手順で用紙を取 り除いてください。



手差し給紙口で詰まっている用紙を手前に引き出して **1** ください。

引き出しにくいときは、無理に引き出さず次の手 順に進んでください。



本体解除レバーを持って手前に引いてください。 2 機械本体が開きます。





本製品本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれが ありますので取り扱いにご注意ください。

用紙が見えたら、機械内部から用紙を取り出してくだ 3 さい。



本体解除レバーを持って原稿テーブルを機械奥側に押 4 して、機械本体を確実に閉じてください。

"紙詰まりです前カバーを開けて下さい"が表示されたとき 表示されている給紙段でロール紙が詰まっています。 以下の手順で用紙を取り除いてください。



1

前カバーを開けてください。



2 ロールユニットの取手 ④ を持ってロックを解除し、 ロールユニットを手前いっぱいまで引き出してください。



3 フランジを持ってロール紙を巻き戻してください。



**4** シワになっている部分や折れているところがあれば、 カッターやはさみで切りとってください。



**5** 両側のロール紙挿入つまみ をつまんで、ロール紙挿入力ボー を開いてください。



6 図のように給紙ガイド板の下に、ロール紙先端を挿入して、給紙ガイド板から10mm程度引き出してください。



**7** 両側のロール紙挿入つまみをつまんでロール紙挿入カ バーを閉じてください。

## 重要

・セットしたロール紙にたるみがある場合は、フランジを 持ってロール紙を巻き戻し、たるみを取ってください。用 紙が斜めに給紙されるおそれがあります。





2 詰まっている原稿を破らないように取り除いてください。

- **9** 前カバーを閉めてください。
- 10 用紙の先端がそろっていない場合には、用紙カット キーを押してください。 用紙の先端がカットされます。

原稿押さえで紙詰まり

原稿押さえで原稿が詰まると以下のようなメッセージが表示されます。以下の手順で原稿を取り出してください。"原稿を再 度挿入して下さい"と表示された場合には再度原稿をセットし なおしてください。

原稿を再度挿入	して下さい
	20枚
	₽普通紙
100%	0594×シンクロm

原稿を取り除い	て下さい
	20枚
	₽普通紙
100%	<b>0</b> 594×シンクロm

1 原稿押さえを両手で持って開いてください。







# 7. トラブルが発生したとき

トラブルが発生した場合は次のことをお調べいただき、それでも直らない場合は弊社製品取り扱い店等までご連絡ください。

トラブルの内容	確認事項	処理方法	参照ページ
メインスイッチをON( ) にしても操作パネルに何も表 示されない。	電源プラグがコンセントに接 続されていますか。	電源プラグをコンセントに接続してください。	
原稿を挿入してもコピーが出 てこない。	操作パネルにメッセージが表 示されていませんか。	各メッセージに対する処理方法を確認して、適切 な処理を行ってください。	8-1
コピーが写らない。	コピーする面を下にして原稿 を挿入していますか。	コピーする面を下にして原稿を挿入してください。	3-2
紙詰まりがたびたび起こる。	用紙に折れやしわがありませ んか。	ロール紙の折れやしわを切り取ってください。	8-12
	詰まった用紙や紙片が機械内 部に残っていませんか。	適切な方法で取り除いてください。	8-9
	用紙のセット方法は正しいで すか。	用紙セット方法を確認してください。	3-6
	第2原図を使用していませんか。	用紙の先端がいたんでいる可能性があります。 ロール紙をいたんでいる部分まで引き出して、 カットしてからご使用ください。	
コピーが斜めに写る。	原稿をまっすぐに挿入してい ますか。	「 原稿を正確にセットするとき」を参照して原 稿をセットしてください。	3-3
	傾き補正を設定していませんか。	傾き補正を解除してください。	6-1
コピーが用紙の幅方向にずれ る。	原稿ガイドは原稿テーブルの 原稿サイズ指示に合っていま すか。	原稿ガイドを原稿サイズ指示に合わせてから、原 稿を挿入してください。	3-2
	ロールユニットのロール紙は 正しくセットされていますか。	フランジ受けの位置をサイズラベルに正しく合わ せてください。	3-6
	手差しコピーのとき、用紙を 正しく挿入していますか	手差しテーブル上の用紙サイズ指示に確実に合わ せてください。	4-8
	画像移動を設定していませんか。	画像移動設定を解除してください。	5-5

# 8章 こんなときには

トラブルの内容	確認事項	処理方法	参照ページ
コピーが原稿挿入方向(また はその反対方向)にずれる。	余白を設定していませんか。	余白設定を解除してください。	5-7
	画像移動を設定していませんか。	画像移動設定を解除してください。	5-5
指定した用紙長さと異なる。	余白を設定していませんか。	余白設定を解除してください。	5-7
コピーにしわがよる。 用紙が カールする。	用紙種の設定は正しいです か。	用紙種選択キーを押して正しい用紙種を選択し てください。	4-5
	用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。ご使用の環境に よっては保温ヒーターを ONにしてください。	3-7
	ロールユニットのフランジ が正しくセットされていま すか。	ロールユニットのフランジを正しくセットして ください。	3-6
	定着温度は適切ですか。	定着温度を低く設定してください。	7-2
トナーの定着が悪い。	用紙種の設定は正しいです か。	用紙種選択キーを押して正しい用紙種を選択し てください。	4-5
	厚手の用紙でコピーしていま せんか。	定着温度を高く設定してください。	7-2
フィルムにコピーしたときネ バネバする。	用紙種の設定はフィルムに なっていますか。	用紙種選択キーを押してフィルムを選択してく ださい。	4-5
フィルムにコピーしたとき フィルムが波をうつ	用紙種の設定はフィルムに なっていますか。	用紙種選択キーを押してフィルムを選択してく ださい。	4-5
	定着温度は適切ですか。	定着温度を低く設定してください。	7-2
原稿とコピーした画像の大き さが異なる。	用紙種の設定は正しいです か。	用紙種選択キーを押して正しい用紙種を選択し てください。	4-5
	等倍度を調整していますか。	等倍度を調整してください。	7-2

# <u>8章 こんなときには</u>

トラブルの内容	確認事項	処理方法	参照ページ
コピーがうすい。	自動濃度ですか。	初期設定の「⑧ 濃度調整」を行ってください。	7-4
	手動濃度ですか。 (コピー濃度表示が左側で点 灯またはうすい濃度表示が点 灯していませんか)	コピー濃度調整キーを押して、適正な位置に セットしてください。	4-3
	トナー補給のメッセージが表 示されていませんか。	トナーを補給してください。	8-3
	用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。ご使用の環境 によっては保温ヒーターを ONにしてください。	3-7
コピーがこい。	自動濃度ですか。	初期設定の「⑧ 濃度調整」を行ってください。	7-4
	手動濃度ですか。(コピー濃度 表示が右側で点灯またはこい濃 度表示が点灯していませんか)	コピー濃度調整キーを押して、適正な位置に セットしてください。	4-3
 コピーに黒いすじがでる。	コンタクトガラスまたは原稿 搬送ローラーは汚れていませ んか。	 コンタクトガラスまたは原稿搬送ローラーの清 掃を行ってください。	9-1

9章 保守・運用のために

# 1. 機械の清掃のしかた



本製品の清掃を行うときは安全上、必ず電源プラグを コンセントから抜いてください。

#### ●原稿押さえ部の清掃

コピー画像に汚れが目立ってきたときにはコンタクトガラス や原稿搬送ローラーの清掃を行ってください。

### 重要

- ・コンタクトガラスについたごみがとれないときには、水ま たは薄い中性洗剤を含ませて、コンタクトガラスを拭いて ください。
- ・シンナーやその他の溶剤は使用しないでください。





**2** 柔らかい布を水で湿らせ、よく絞ってから、コンタク トガラスを拭いてください。



3 原稿搬送ローラーを手で回しながらきれいに拭いてく ださい。



乾いた柔らかい布でコンタクトガラスと原稿搬送ロー ラーを乾拭きしてください。





・ガラス部分には曇りが残らないように拭いてください。



5 原稿押さえを静かに閉じてください。

# 2.消耗品

機械の性能を維持しトラブルを未然に防止するために、消耗品は必ず弊社のものをご使用ください。

### 推奨用紙

・カット紙

普通紙(DC 共用 64 g/m²)	第 2 原図(DC 用 <b>GNT-75 75 g/m</b> ²)	PPC フィルム EK-300
・ロール紙 普通紙(DC 共用 <b>64 g/m</b> ²)	第 2 原図(DC 共用 <b>75 g/m</b> ²)	DC フィルムロール
普通紙・厚口(DC 共用 <b>70 g/m</b> ²)		

2000年3月現在のものです。価格については別紙価格表をご参照ください。

## 3. 製品の保守サービスについて

このたびは、弊社複写機をご購入いただき、ありがとうございます。保守サービス方式には次のものがございます。

コピーキット方式

弊社指定のコピーキットをご購入いただきますと「コピーシステム契約書」に もとづき、複写機の点検・調整・修理および感光体の提供・交換を行います。

コピーチャージ方式

トナー、用紙などの消耗品を除く、複写機の点検・調整・修理および感光体 の提供・交換を行い、その対価としてコピー料金を申し受ける方式です。

スポット方式 保守サービスとドラムおよび消耗品の供給を、お客様の要請のつど料金を申 し受ける方式です。

詳しくは、販売担当者もしくは、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

## 4.保守サービス契約書について

保守サービスとしてコピーキット契約を結ばれたお客様は「コピーシステム契約書」を、またコピーチャージ契約を結ばれたお客様は「コピーチャージ契約 書」を、ご購入の際お買い上げ販売店もしくは弊社営業所が必要事項を記入 し、お渡しいたします。

「コピーシステム契約書」、または「コピーチャージ契約書」には、お買い上げ になった複写機の保守サービスの内容などが記載されておりますので、よくお 読みになった後、大切に保管願います。もし、「コピーシステム契約書」、また は「コピーチャージ契約書」の発行がなされていない場合は、お買い上げ販売 店もしくは弊社営業所へご連絡ください。ただちに発行手続きをいたします。

アフターサービスについてご不明な点がありましたら、お買い上げ販売店 もしくは、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

## 5. 補修用性能部品について

補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品のことをいいます。 弊社の保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製造中止後、7年間です。

## 6. 廃棄について

### 1.使用済み製品の廃棄

使用済み製品を廃棄される場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご連絡ください。回収された使用済み製 品は、それぞれの構成部品毎に分解され、金属部品は金属回収ルートに乗せて回収されます。再利用可能な部品は清掃し再利用 し、再利用の不可能なあらゆる部品は環境に考慮して適切に処理されます。

### 2.トナーボトルおよびトナー回収タンクの廃棄

使用後、不要になりましたトナーボトルおよびトナー回収タンクは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却 下さい。回収されたトナーボトルおよびトナー回収タンクは、再利用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄 処理されます。





## <u>9章 保守・運用のために</u>

# 7.仕様

名称	KM-4850w
形式	コンソール
原稿台方式	原稿移動方式
複写方式	間接静電方式
原稿の種類	シート
原稿サイズ	-最大:A0 920mm(幅)×6000mm(長さ)
	最小:A4 (好) 210mm(幅)× 297mm(長さ)
	原稿の厚さ:64 ~ 80g/m <sup>2</sup>
複写サイズ	最大:A0 920mm(幅)×6000mm(長さ)
	最小:A4 (好) 210mm(幅)× 297mm(長さ)
	用紙の厚さ:64 ~ 80g/m <sup>2</sup>
複写速度	A1317枚/分(4.8m/分)
ウォームアップタイム	600秒以内(室温 20 , 湿度 65%RH)
ファーストコピータイム	18秒以内(A1好)
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	25~400%(1%または0.1%毎)の任意倍率および固定倍率
画像蓄積用メモリ	標準 128MB (最大 1152MB)
増設メモリ	168 ピン汎用 DIMM (64MB, 128MB, 256MB, 512 MB)
给纸方式	2段のロールユニットから給紙および手差し給紙
使用用紙	
运行, 1973, 1988, 1997, 1997, 1997, 1997, 1997, 1997, 1997, 1997, 1997, 1997, 1997, 1997, 1997, 1997, 1997, 1997,	
這み込み方式 「読み込み方式	※
書き込み方式	
目色との方式	
よる パート 大学 に 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	ガレルカートロッジナギ
「 ジー 補加	
	· ビートローノー - ゴー・ド・ファー ゴーシクリーーングナギ
クリーニンク 万式 	
恩尤भ裡類	UPCトフム(保温ヒーターのリ)
	1) 周機能 日期受信、スームコヒー、固定受信、独立受信、ソート、グルーノ、画像を た、クローピー 抽送し 焼魚 三角回転 サンプリーピー エーピー ボール かいいいーノ
	割、余日コヒー、伴泪し、鏡像、画像回転、サンフルコヒー、冉コヒー機能、割り込みコヒー、
	ンヨノ予約機能、ノロクラム機能、予熱機能、オートンヤットオノ機能、自己診断機能
	AC 100V 15A 50/60Hz
正格涓質電刀	1500W
機械寸法	·幅 1330mm × 奥行 704mm × 局さ 1205mm
占有寸法	幅1330mm×奥行774mm
質量	約 2 5 2 K g
付属品	コピー受け補助板 , 原稿反転ガイド板、フランジ
オプション	ロールユニット、キャリアシート、原稿トレイ、カセット
	プリンタ / スキャナコントローラ、キーカード、キーカウンタ、増設メモリ

(仕様は性能改善のため予告無く変更することがあります)

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の 高調波対策ガイドライン(家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに 準拠)に適合しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に 基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電 波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策 を講ずるよう要求されることがあります。



# KYDCERa お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡 ください。市内通話料金でご利用いただけます。

# 京セラミタ株式会社 京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-15



**20570-046562** <sup>受付時間</sup> ● 9:00~17:00 (但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く) <sup>■内通話料でOK</sup> ナビタイヤル 市内通話料金でご利用いただけます

京セラミタの情報は、インターネットでご覧いただけます。http://www.kyoceramita.co.jp